

# 豊田地域医療センター病院年報

平成26年度

## <目次>

1	病院理念と基本方針	1
2	発刊にあたり	2
3	病院機能	
3.1	施設概要	4
3.2	各種指定・学会認定等	5
3.2.1	各種指定	
3.2.2	学会認定	
3.2.3	病院機能評価	
3.2.4	人間ドック健診施設機能評価	
3.3	施設基準	6
3.4	組織図	7
3.5	医療機器	8
3.5.1	主な医療機器	
3.5.2	主な医療システム	
4	業務状況	
4.1	診療実績	9
4.1.1	科別患者数	
4.1.2	地域別患者数	
4.1.3	年齢構成別患者数	
4.1.4	傷病別入院患者数	
4.2	健診実績	15
4.2.1	総合健診（人間ドック）受診者数	
4.2.2	総合健診（人間ドック）地域別受診者数	
4.2.3	他の健診受診者数	
4.2.4	集団検診受診者数	
4.2.5	学校健診	
4.3	地域医療連携実績	18
4.3.1	紹介患者実績	
4.3.2	医療相談実績	
4.4	在宅実績	20
4.4.1	地域包括支援実績	
4.4.2	居宅介護支援実績	
4.4.3	訪問看護実績	
4.5	部門実績	21
4.5.1	医療安全管理部門	
4.5.2	感染管理部門	
4.5.3	診療部門	
4.5.4	薬剤部門	
4.5.5	診療放射線部門	

4.5.6	臨床検査部門	
4.5.7	手術部門	
4.5.8	リハビリテーション部門	
4.5.9	診療録管理部門	
5	委員会状況	
5.1	委員会一覧	30
5.2	活動報告	31
5.2.1	医療安全管理委員会	
5.2.2	院内感染対策委員会・ICT委員会	
5.2.3	健診運営委員会	
5.2.4	サービス向上委員会	
5.2.5	IT委員会	
5.2.6	診療報酬委員会	
5.2.7	内視鏡室運営委員会	
5.2.8	栄養管理委員会	
5.2.9	NST委員会	
5.2.10	褥瘡防止対策委員会	
5.2.11	薬事材料委員会	
5.2.12	臨床検査適正化・輸血療法委員会	
5.2.13	入退院判定会	
5.2.14	災害対策委員会	
5.2.15	広報委員会	
5.2.16	衛生委員会	
6	学会、研究会、講演等の発表	52
7	研修状況	
7.1	研修会	54
8	実習状況	
8.1	学生実習	55
8.2	職場体験学習	56
9	監査状況	
9.1	病院立入検査	57

## 病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、  
地域のみなさまの生命を守り、  
健康で生きがいのある生活を支援します。

## 基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

豊田地域医療センター 院長

## 2 発刊にあたり

平成 26 年度病院年報

公益法人 豊田地域医療センター 院長 井野 晶夫

昨年、豊田地域医療センターとして初めての病院年報を発刊しましたが、今年も平成 26 年度豊田地域医療センター病院年報を発刊できることを大変うれしく思います。病院理念や基本方針に沿って、目標がどの程度達成されているかを知ることができ、また、これからの病院の方向性を考える上でも貴重な視点を与えてくれるものと思います。

平成 26 年度のわが国での大きなニュースとしては御嶽山の噴火災害、消費税が 8%、青色 LED で赤崎、天野、中村の 3 氏がノーベル物理学賞受賞、全米テニスで錦織が準優勝、「アベノミクス」衆議院選挙、広島北部の土砂災害などが挙げられます。LED は日常生活の中で我々の生活に密着した光に関する業績であり、将来にわたってその恩恵を身近に感じることができるのだらうと思います。このほか医療界では「STAP 細胞」論文の不正問題や理研での騒動、エボラ出血熱の影響やわが国でのデング熱流行もありました。

平成 26 年度の病院事業について振り返ってみたいと思います。当センターでは、病院の諸機能や建物の再整備が現在進められており、その基本コンセプトである総合診療機能、在宅医療支援機能、健康診断機能、救急医療機能、看護師養成機能の充実に向けて職員一同が協力・連携して努力しています。

総合診療は患者さんを特定の臓器や特性によって差別することなく、包括的に診療することを専門とする診療科です。「2025 年問題」に向けた高齢者医療、地域医療を円滑に進めるためにはこの機能を充実させることは極めて重要です。総合診療医は平成 29 年に 19 番目の専門医として新たに設置されることが決まり、地域医療の振興・充実に大きく期待されています。当センターでは藤田保健衛生大学と連携して後期研修コース ver. 2 を作成し、プライマリ・ケア連合学会の認定を受けることができました。今年度は総合診療科の外来診療を開始し、来年度に向けて在宅診療を含む本格的な診療と後期研修を開始する準備ができたと考えています。この後期研修コースで指導医をそろえ、数人の若手の後期研修医に on the job training を実施することは、当センターの活性化にも大きく影響すると考えています。

在宅医療支援機能に関しては、当センターでの在宅医療推進委員会の活動を通じて、在宅医療を受けている患者さんの急変時の入院体制を当センターで整備し、来年度より運用が開始されることになりました。このような後方支援を充実させることは、在宅医療体制の活性化に繋がるものと考えています。豊田地域ケア支援センターでは看護支援件数は対前年度比 15.3%増、また相談件数も対前年度比 24.8%増と業績を伸ばすことができました。訪問看護ステーションは在宅医療推進委員会で強化、拠点化に向けて検討が進み、人員体制の整備もあり、訪問看護・訪問リハビリ利用者数は対前年度比 21.9%増となりました。また愛知県看護協会訪問看護認定教育課程実習生の受け入れも行いました。来年度からの総合診療科による在宅診療の実施に伴って、

この領域の今後の更なる充実を期待しています。

高齢社会の医療では、予防や健診による生活習慣への早期介入は重要な問題として取り上げられ、住民の健康だけでなく、医療経済的な観点からも考慮されるべきと考えられます。当センターでは、従来より健康診断への取り組みは活発に行っていましたが、今年度は事業所の担当者と連携して受診への働きかけもし、総合健診、特定健診はそれぞれ対前年度比 0.7%増、3.6%増となりました。

救急診療体制では藤田保健衛生大学医師派遣の支援体制を維持し、豊田厚生病院、トヨタ記念病院、豊田加茂医師会および歯科医師会と連携して、救急外来患者数は対前年度比 8.6%増でした。市民の安心・安全を守るための医療提供体制は堅持できていると考えております。さらに、老人保健施設、老人福祉施設などとの連携にも継続して取り組み、入所者の緊急時の外来診察、入院診療に積極的に対応しました。

ほかの病院内の診療活動についてはここでは言及できませんが、本年度の職員の尽力、貢献に感謝しております。

豊田地域医療センターの更なる発展のためには、豊田市、豊田加茂医師会、藤田保健衛生大学やこの地区の医療諸機関との連携をさらに深めることに今後とも努力いたします。また、病院の5つの柱とされる「サービス」、「医療の質」、「財務」、「人材」、「成長」についてそれぞれの職場、職員が具体的な目標を持って努力することが重要と考えております。

皆様のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

# 3. 病院機能

## 3.1 施設概要

平成 26 年 4 月 1 日現在

### 所在地

〒471-0062  
愛知県豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1

### 連絡先

☎0565-34-3000（代表）

### ホームページアドレス

<http://www.toyotachiiki-mc.or.jp>

### 敷地面積

34,422.55 m<sup>2</sup>

### 診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、神経内科、外科、  
整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、歯科

### 病床数

一般病床 80 床  
回復期リハビリテーション病床 30 床  
療養病床 40 床

### 施設規模

施設	構造	延床面積
病院本体	鉄筋コンクリート造	17,810.58 m <sup>2</sup>
	地下1階地上4階建	
MRI棟	鉄筋コンクリート造	119.36 m <sup>2</sup>
	平屋建	
倉庫（旧感染症病棟）	鉄筋コンクリート造	651.01 m <sup>2</sup>
	地下1階地上2階建	
豊田地域看護専門学校	鉄筋コンクリート造	3,029.73 m <sup>2</sup>
	3階建	
体育館	鉄筋コンクリート造	686.99 m <sup>2</sup>
	平屋一部2階建	

### 職員数

事務局		病院部門															教育部門		合計			
事務員		医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	保健師	看護師	准看護師	社会福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	事務員	技能員	看護師		事務員		
2	2	238	17	7	17	19	12	9	4	3	5	95	1	4	9	3	31	2	14	12	2	254

## 3.2 各種指定・学会認定等

平成 26 年 4 月 1 日現在

### 3.2.1 各種指定

保健医療機関  
救急告示医療機関  
結核医療機関  
労災保険指定医療機関  
労災保険二次健診等給付医療機関  
生活保護法指定指定機関  
被爆者一般疾病医療機関  
指定自立支援医療機関（精神通院医療）  
B型・C型肝炎患者医療給付事業指定医療機関  
藤田保健衛生大学病院臨床研修協力医療機関  
豊田地域看護専門学校実習指定病院  
国土交通省短期入院協力指定病院（交通事故後の重症後遺症）

### 3.2.2 学会認定

日本消化器病学会認定施設  
日本脳ドック学会認定施設  
日本静脈経腸栄養学会認定「NST（栄養サポートチーム）」稼働施設

### 3.2.3 病院機能評価

認定機関	公益財団法人 日本医療機能評価機構
バージョン	3rdG:Ver1.0
種別・区分	一般病院（100床以上）（主たる機能）
審査日	2013-07-29
認定日	2013-11-01
認定番号	JC1558-2
認定有効期限	2018-09-28

### 3.2.4 人間ドック健診施設機能評価

認定機関	公益財団法人 日本人間ドック学会
バージョン	2.0
認定日	2013-04-20
認定番号	306
認定有効期限	2018-03-31

### 3.3 施設基準

平成 26 年 8 月 1 日現在

届出名称	受理番号	算定開始年月日
一般病棟入院基本料	(一般入院) 第2349号	平成24年 6月 1日
療養病棟入院基本料	(療養入院) 第850号	平成25年11月 1日
救急医療管理加算	(救急加算) 第15号	平成22年 4月 1日
診療録管理体制加算 1	(診療録1) 第13号	平成26年 4月 1日
療養環境加算	(療) 第179号	平成20年 8月 1日
重症者等療養環境特別加算	(重) 第80号	平成 3年 4月 1日
療養病棟療養環境加算 1	(療養 1) 第137号	平成25年 4月 1日
栄養サポートチーム加算	(栄養子) 第73号	平成26年 6月 1日
医療安全対策加算 1	(医療安全1) 第109号	平成20年 4月 1日
感染防止対策加算 1	(感染防止 1) 第63号	平成26年 6月 1日
退院調整加算	(退院) 第53号	平成24年 4月 1日
救急搬送患者地域連携紹介加算	(救急紹介) 第102号	平成24年 4月 1日
救急搬送患者地域連携受入加算	(救急受入) 第7号	平成22年 4月 1日
総合評価加算	(総合評価) 第30号	平成23年 8月 1日
後発医薬品使用体制加算 2	(後発使 2) 第68号	平成22年10月 1日
回復期リハビリテーション病棟入院料2	(回 2) 第137号	平成23年 7月 1日
入院時食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)	(食) 第316号	平成 3年 3月30日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第65号	平成22年 4月 1日
小児科外来診療料	(小外) 第326号	平成 8年 4月 1日
夜間休日救急搬送医学管理料	(夜救管) 第17号	平成24年 4月 1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第317号	平成20年 7月 1日
地域連携診療計画退院時指導料(Ⅰ)	(地連携) 第97号	平成19年 3月 1日
がん治療連携指導料	(がん指) 第904号	平成25年 8月 1日
薬剤管理指導料	(薬) 第414号	平成22年 4月 1日
医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算(Ⅰ)	(検Ⅰ) 第276号	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算(Ⅱ)	(検Ⅱ) 第44号	平成20年 4月 1日
画像診断管理加算 2	(画2) 第69号	平成20年 4月 1日
CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第622号	平成24年 4月 1日
冠動脈CT撮影加算	(冠動C) 第26号	平成21年 1月 1日
大腸CT撮影加算	(大腸C) 第10号	平成24年 4月 1日
心臓MRI撮影加算	(心臓M) 第13号	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	(菌) 第197号	平成21年12月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ) 第99号	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ) 第47号	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ) 第70号	平成24年 4月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	(通手) 第325号	平成20年 4月 1日
胃瘻造設術	(胃瘻造) 第26号	平成26年 4月 1日
輸血管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ) 第23号	平成19年 3月 1日
輸血適正使用加算	(輸適) 第8号	平成24年 4月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第24号	平成26年 4月 1日
酸素単価	(酸素単) 第17776号	平成26年 4月 1日



## 3.5 医療機器

平成 26 年 3 月 31 日現在

### 3.5.1 主な医療機器

部門	備品名	台数
画像診断	一般撮影装置	4
	X線テレビ装置	6
	乳房軟線撮影装置	2
	パノラマ撮影装置	1
	CT (64列)	1
	MRI (1.5テスラ)	1
	骨塩定量測定装置	1
内視鏡検査	気管支ファイバースコープ	1
	上部消化管ファイバースコープ	5
	下部消化管ファイバースコープ	3
検体検査	検査分析装置	7
生理検査	腹部超音波診断装置	7
	心臓超音波診断装置	1
	乳腺・その他超音波診断装置	2
認知機能検査	ADAS (DT-Nav i)	2

### 3.5.2 主な医療システム

備品名	メーカー	システム名
電子カルテシステム	富士通	HOPE-EGMAIN-NX
健診システム	日立メディコ	ヘルゼアネクスト
PACS	東芝	RapideyeCore

## 4. 業務状況

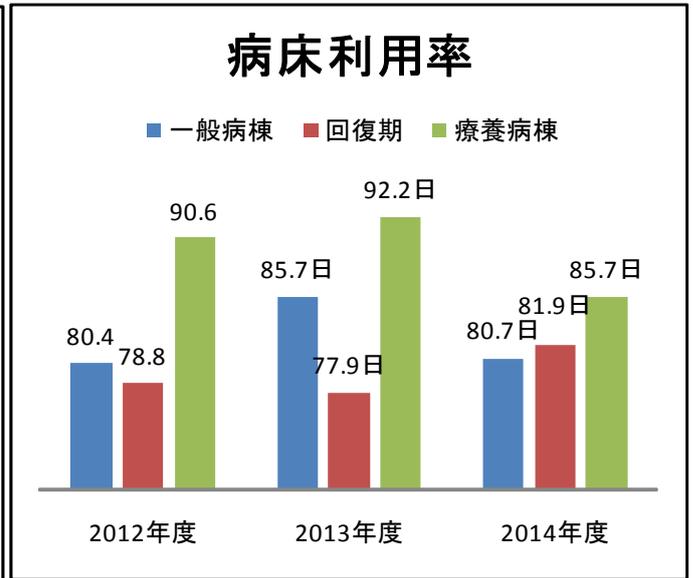
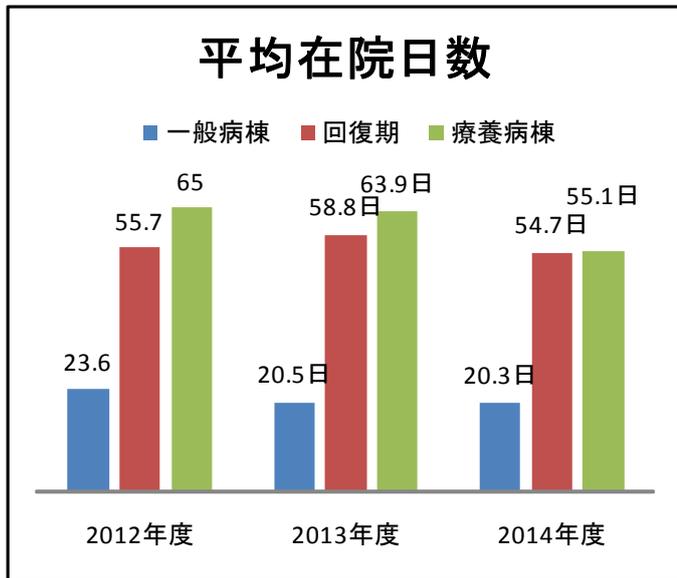
### 4.1 診療実績

#### 4.1.1 科別患者数

区分		月	患者数	1日平均	前年度	前年度比	診療日数	
							前年度	
外 来	救急外来	内科	11,613人	32人	10,361人	112.1%	365日	365日
		小児科	3,684人	10人	3,382人	108.9%		
		外科	4,772人	13人	4,710人	101.3%		
		歯科	513人	7人	498人	103.0%		
		小計	20,582人	56人	18,951人	108.6%		
	専門外来・ お年寄り 生きいき 外来	総合診療科	1,905人	7人	—	—	293日	294日
		消化器内科	9,099人	31人	9,716人	93.6%		
		循環器内科	4,503人	15人	4,755人	94.7%		
		呼吸器内科	3,441人	12人	3,711人	92.7%		
		神経内科	1,430人	5人	1,175人	121.7%		
		外科	5,707人	20人	5,815人	98.1%		
		整形外科	4,971人	17人	4,408人	112.8%		
		脳神経外科	1,337人	5人	1,238人	108.0%		
		放射線科	1,594人	5人	1,499人	106.3%		
		泌尿器科	251人	1人	208人	120.7%		
	小計	34,238人	117人	32,525人	105.3%			
	合計		54,820人		51,476人	106.5%		

区分		月	患者数	1日平均	前年度	前年度比 %	診療日数	
							前年度	
入院口腔ケア(歯科)			87人	7.3人	111人	78.4%	12日	12日

区 分		患者数	1日平均	前年度	前年度比	平均在院日数		病床利用率	
						前年度	前年度	前年度	前年度
入 院	一般病棟	23,558人	64.5日	25,021人	94.2%	20.3日	20.5日	80.7%	85.7%
	回復期リハビリテーション病棟	8,968人	24.6日	8,531人	105.1%	54.7日	58.8日	81.9%	77.9%
	療養病棟	12,506人	34.3日	13,459人	92.9%	55.1日	63.9日	85.7%	92.2%
	合 計	45,032人	123.4日	47,011人	95.8%	26.2日	29.8日	82.3%	85.9%



< 定義 >

平均在院日数

年間在院患者のべ数

$(\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数}) \div 1/2$

※除外患者を除かない全患者数

病床利用率

年間在院患者のべ数

$\frac{\text{年間在院患者のべ数}}{\text{病床数} \times 365 \text{日}} \times 100\%$

## 4.1.2 地域別患者数

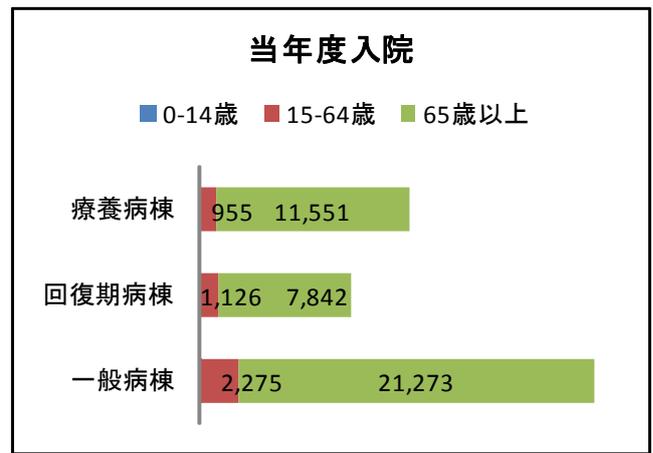
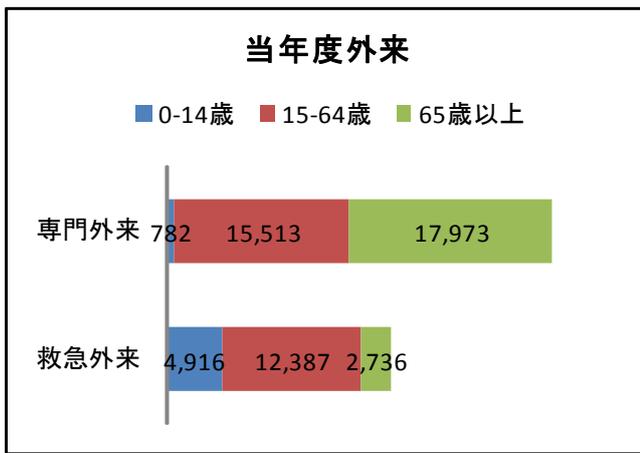
地域		豊 田 市								みよし市	その他	合 計
		旧市内	藤岡地区	小原地区	下山地区	旭地区	足助地区	稲武地区	小 計			
区 分												
		救急外来	内 科	9,360人	709人	123人	57人	37人	90人	7人	10,383人	598人
小 児 科	2,968人		191人	16人	11人	8人	31人	3人	3,228人	256人	200人	3,684人
外 科	3,715人		339人	59人	22人	20人	50人	3人	4,208人	253人	311人	4,772人
歯 科	376人		22人	1人	7人	2人	16人	2人	426人	39人	48人	513人
小 計	16,419人		1,261人	199人	97人	67人	187人	15人	18,245人	1,146人	1,191人	20,582人
専門外来・お年寄り生きいき外来	総合診療科	1,551人	84人	11人	17人	39人	22人	1人	1,725人	78人	102人	1,905人
	消化器内科	7,002人	467人	166人	83人	58人	141人	29人	7,946人	494人	659人	9,099人
	循環器内科	3,696人	252人	50人	21人	13人	74人	3人	4,109人	200人	194人	4,503人
	呼吸器内科	2,717人	185人	121人	12人	11人	58人	2人	3,106人	124人	211人	3,441人
	神経内科	1,239人	49人	28人	0人	19人	19人	1人	1,355人	43人	32人	1,430人
	外 科	4,573人	305人	130人	55人	61人	86人	6人	5,216人	129人	362人	5,707人
	整形外科	4,075人	380人	55人	5人	19人	46人	1人	4,581人	205人	185人	4,971人
	脳神経外科	1,126人	58人	17人	10人	0人	11人	3人	1,225人	63人	49人	1,337人
	放射線科	1,164人	84人	8人	10人	4人	9人	0人	1,279人	252人	63人	1,594人
	泌尿器科	219人	12人	2人	2人	1人	7人	0人	243人	2人	6人	251人
	小 計	27,362人	1,876人	588人	215人	225人	473人	46人	30,785人	1,590人	1,863人	34,238人
合 計	43,781人	3,137人	787人	312人	292人	660人	61人	49,030人	2,736人	3,054人	54,820人	
構 成 比 %	79.9%	5.7%	1.4%	0.6%	0.5%	1.2%	0.1%	89.4%	5.0%	5.6%	100.0%	
前 年 度	41,013人	2,934人	881人	247人	254人	591人	68人	45,988人	2,513人	2,975人	51,476人	
前 年 度 比 %	106.7%	106.9%	89.3%	126.3%	115.0%	111.7%	89.7%	106.6%	108.9%	102.7%	106.5%	

入 院	一 般 病 棟	19,773人	894人	913人	73人	295人	160人	151人	22,259人	376人	923人	23,558人
	回 復 期 リハビリテーション病棟	6,914人	880人	500人	41人	23人	46人	100人	8,504人	244人	220人	8,968人
	療 養 病 棟	10,777人	167人	344人	0人	104人	40人	0人	11,432人	538人	536人	12,506人
	合 計	37,464人	1,941人	1,757人	114人	422人	246人	251人	42,195人	1,158人	1,679人	45,032人
	構 成 比 %	83.2%	4.3%	3.9%	0.3%	0.9%	0.5%	0.6%	93.7%	2.6%	3.7%	100.0%
	前 年 度	38,253人	2,388人	1,310人	279人	252人	361人	36人	42,879人	2,239人	1,893人	47,011人
	前 年 度 比 %	97.9%	81.3%	134.1%	40.9%	167.5%	68.1%	697.2%	98.4%	51.7%	88.7%	95.8%

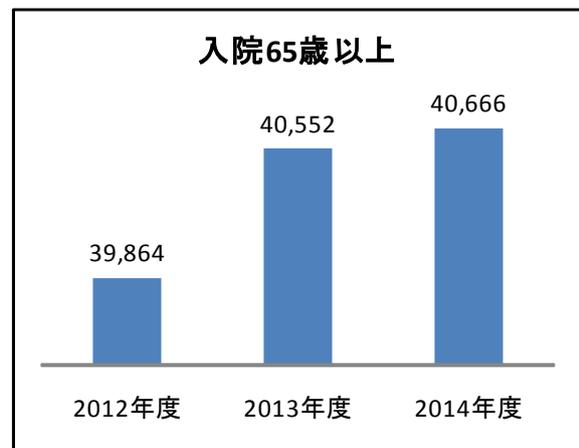
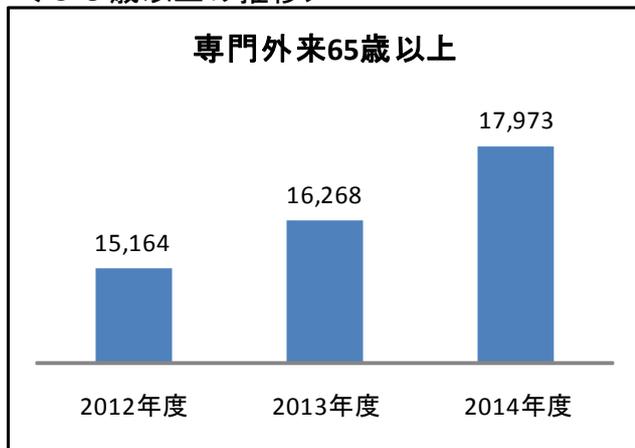
### 4.1.3 年齢構成別患者数

<年齢構成別患者数>

延べ数（人）		前々年度	前年度	当年度
外来	0-14歳	5,623人	5,367人	5,698人
	15-64歳	27,062人	26,844人	27,900人
	65歳以上	17,674人	18,767人	20,709人
入院	0-14歳	18人	12人	10人
	15-64歳	5,457人	6,447人	4,356人
	65歳以上	39,864人	40,552人	40,666人



<65歳以上の推移>



## 4.1.4 傷病別入院患者数

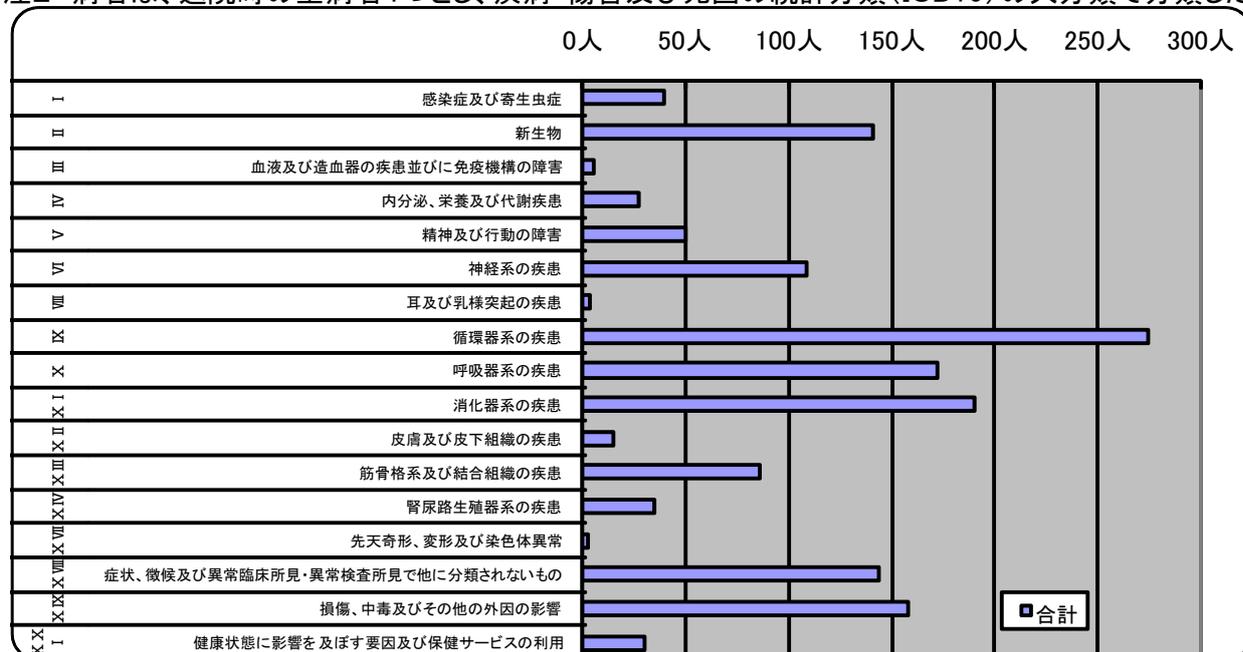
〈傷病別入院患者〉

患者数

区分	傷病名 分類名称	合計	一般病棟		療養病棟	回復期
			3A病棟	3B病棟	2A病棟	2B病棟
I	感染症及び寄生虫症	40人	8人	32人	0人	0人
II	新生物	141人	25人	107人	9人	0人
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6人	1人	4人	1人	0人
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	27人	17人	9人	1人	0人
V	精神及び行動の障害	50人	17人	24人	8人	1人
VI	神経系の疾患	109人	59人	10人	34人	6人
VIII	耳及び乳様突起の疾患	4人	0人	4人	0人	0人
IX	循環器系の疾患	274人	112人	27人	76人	59人
X	呼吸器系の疾患	172人	69人	93人	8人	2人
X I	消化器系の疾患	190人	12人	178人	0人	0人
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	15人	4人	10人	0人	1人
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	86人	59人	8人	18人	1人
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	35人	8人	23人	3人	1人
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	3人	1人	1人	0人	1人
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	144人	47人	47人	50人	0人
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	158人	25人	33人	13人	87人
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	30人	22人	6人	0人	2人

注1 対象者は、平成26年4月～平成27年3月の退院患者とした。

注2 病名は、退院時の主病名1つとし、疾病・傷害及び死因の統計分類(ICD10)の大分類で分類した。

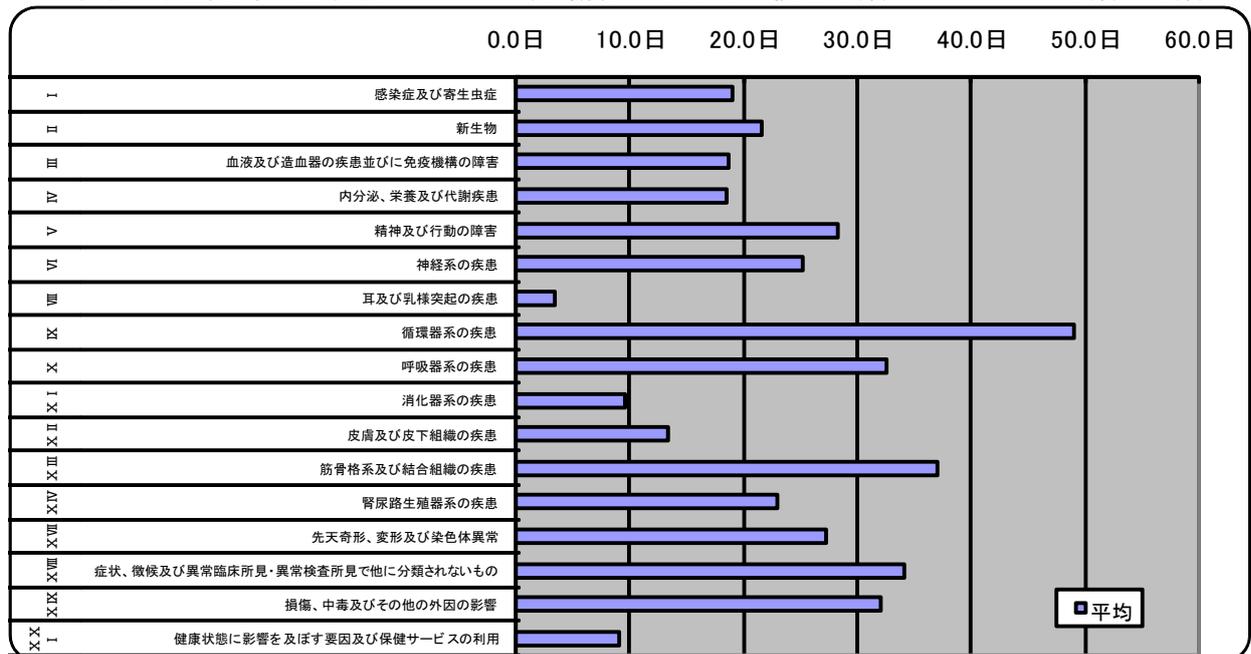


平均在院日数

区分	傷病名 分類名称	平均	一般病棟		療養病棟	回復期
			3A病棟	3B病棟	2A病棟	2B病棟
I	感染症及び寄生虫症	19.0日	63.1日	8.0日	0.0日	0.0日
II	新生物	21.5日	20.3日	14.7日	106.2日	0.0日
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18.7日	29.0日	12.3日	34.0日	0.0日
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	18.5日	21.1日	9.1日	60.0日	0.0日
V	精神及び行動の障害	28.2日	47.1日	1.7日	70.9日	2.0日
VI	神経系の疾患	25.2日	16.0日	12.0日	39.5日	56.5日
VIII	耳及び乳様突起の疾患	3.5日	0.0日	3.5日	0.0日	0.0日
IX	循環器系の疾患	49.1日	22.0日	20.1日	77.8日	77.0日
X	呼吸器系の疾患	32.6日	30.9日	15.6日	250.6日	5.0日
X I	消化器系の疾患	9.6日	15.6日	9.2日	0.0日	0.0日
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	13.4日	18.3日	9.7日	0.0日	31.0日
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	37.1日	26.9日	9.5日	82.2日	45.0日
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	22.9日	36.5日	8.4日	105.0日	2.0日
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	27.3日	4.0日	55.0日	0.0日	23.0日
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	34.1日	18.6日	12.5日	69.0日	0.0日
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	32.0日	37.4日	9.4日	8.6日	42.5日
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.1日	9.6日	3.7日	0.0日	20.0日

注1 対象者は、平成26年4月～平成27年3月の退院患者とした。

注2 病名は、退院時の主病名1つとし、疾病・傷害及び死因の統計分類(ICD10)の大分類で分類した。



## 4.2 健診実績

### 4.2.1 総合健診（人間ドック）受診者数

区分		当年度	前年度	前年度比
コース別	けやき	1,047人	1,027人	101.9%
	ひまわりA	3,352人	3,369人	99.5%
	ひまわりB	150人	126人	119.0%
	さつき	524人	547人	95.8%
	協会けんぽ	7,602人	7,364人	103.2%
	豊田市総合がん	471人	486人	96.9%
	内容指定ドック	8,279人	8,450人	98.0%
	脳ドック	1,060人	963人	110.1%
	肺ドック	179人	170人	105.3%
年代別	29歳以下	790人	775人	101.9%
	30歳代	4,314人	4,407人	97.9%
	40歳代	7,081人	6,922人	102.3%
	50歳代	6,848人	6,880人	99.5%
	60歳代	3,169人	3,082人	102.8%
	70歳以上	462人	436人	106.0%
合計	受診者数	22,664人	22,502人	100.7%
	健診日数	293人	292人	100.3%
	1日当り受診者数	77.4人	77.1人	100.4%

検査別判定	要精密検査
内科診察	39人
眼圧・眼底	112人
血圧	338人
心電図	550人
脂質	799人
肺機能	61人
胸部X線	162人
腎機能	120人
胃部X線	987人
便潜血	1,048人
腹部超音波	119人
糖尿病	277人
肝機能	575人
血液一般	366人
血清	34人
子宮がん	75人
婦人科内診	220人
乳がん	120人
肺がん	8人
骨密度	8人
総合	4,843人

## 4.2.2 総合健診（人間ドック）地域別受診者数

地域	豊田市								みよし市	その他	合計
	旧市内	藤岡地区	小原地区	下山地区	旭地区	足助地区	稲武地区	小計			
当年度	14,765人	862人	205人	159人	151人	387人	98人	16,627人	1,287人	4,750人	22,664人
構成比	65.1%	3.8%	0.9%	0.7%	0.7%	1.7%	0.4%	73.4%	5.7%	21.0%	100.0%
前年度	14,797人	840人	201人	162人	148人	399人	99人	16,646人	1,276人	4,580人	22,502人
前年度比	99.8%	102.6%	102.0%	98.1%	102.0%	97.0%	99.0%	99.9%	100.9%	103.7%	100.7%

## 4.2.3 他の健診受診者数

### 特定健診関係

健診の種類		当年度	前年度	前年度比
豊田市健康診査	特定健診	6,061人	5,886人	103.0%
	後期高齢者健診	1,317人	1,195人	110.2%
社会保険等特定健診		681人	701人	97.1%
生き生き健診		73人	56人	130.4%
合計		8,132人	7,838人	103.8%

### 保健指導関係

区分			当年度	前年度	前年度比
特定保健指導	積極的支援	初回面接	25人	19人	131.6%
		実績評価	19人	62人	30.6%
	動機付け支援	初回面接	23人	26人	88.5%
		実績評価	28人	52人	53.8%
一般保健指導			358人	24人	1,491.7%
合計			453人	183人	247.5%

### 豊田市がん検診・肝炎検診

区分	当年度	前年度	前年度比
胃がん検診	6,361人	6,192人	102.7%
大腸がん検診	7,701人	7,521人	102.4%
肺がん検診	5,981人	5,712人	104.7%
子宮がん検診	2,247人	2,147人	104.7%
乳がん検診	3,424人	3,285人	104.2%
前立腺がん検診	1,898人	1,860人	102.0%
肝炎検診	751人	776人	96.8%
合計	28,363人	27,493人	103.2%

### その他の健診

健診の種類	当年度	前年度	前年度比
高齢者健診	412人	420人	98.1%
レディース検診	193人	228人	84.6%
骨粗しょう症健診	186人	196人	94.9%
簡易健診	773人	826人	93.6%
合計	1,564人	1,670人	93.7%

#### 4.2.4 集団検診受診者数

区分		当年度	前年度	前年度比
事業所健診	雇入れ健康診断	713人	611人	116.7%
	定期健康診断(全項目)	14,364人	13,294人	108.0%
	定期健康診断(省略項目)	9,601人	9,545人	100.6%
	胃がん検診	817人	832人	98.2%
	特殊健診	7,025人	6,488人	108.3%
住民健診		177人	149人	118.8%
その他		3,761人	3,711人	101.3%
合計		36,458人	34,630人	105.3%

#### 4.2.5 学校健診

区分	当年度	前年度	前年度比
胸部X線	7,918人	7,731人	102.4%
心電図	18,084人	18,123人	99.8%
尿検査	62,368人	61,956人	100.7%
便検査	578人	556人	104.0%
血液検査	1,576人	5,339人	29.5%
その他	4,520人	8,512人	53.1%
合計	95,044人	102,217人	93.0%

## 4.3 地域医療連携実績

### 4.3.1 紹介患者実績

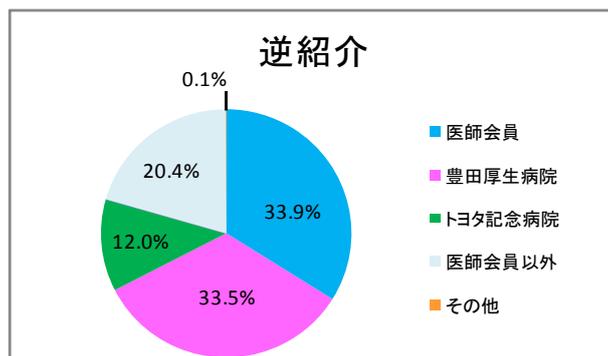
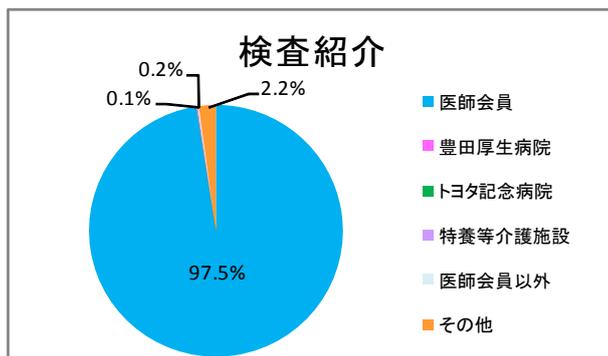
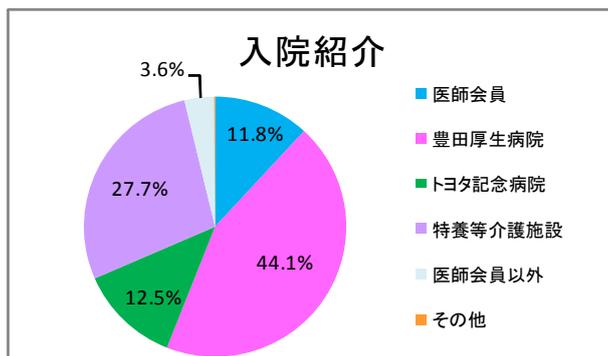
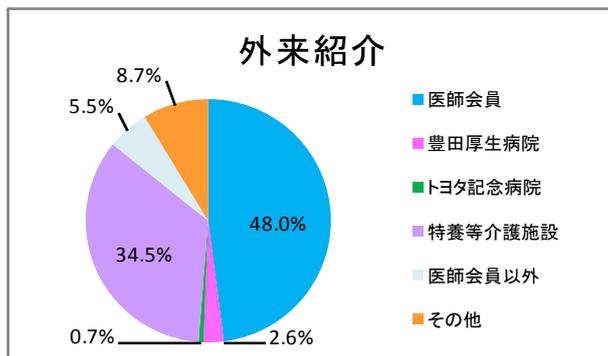
区分		年度	当年度	前年度	前年度比
外来紹介患者数			1,069人	999人	107.0%
入院紹介患者数	一般病棟		603人	687人	87.8%
	回復期病棟		154人	143人	107.7%
	療養病棟		11人	16人	68.8%
	小計		768人	846人	90.8%
検査紹介患者数	MRI	頭部	429人	420人	102.1%
		躯幹	577人	501人	115.2%
		四肢	124人	77人	161.0%
	CT	頭部	104人	147人	70.7%
		躯幹	523人	432人	121.1%
		四肢	6人	8人	75.0%
	内視鏡	上部	292人	329人	88.8%
		下部	104人	114人	91.2%
	X線透視	胃部	0人	1人	0.0%
		大腸	2人	7人	28.6%
	超音波	腹部	105人	113人	92.9%
		心臓	25人	16人	156.3%
		その他	35人	50人	70.0%
その他		13人	22人	59.1%	
小計			2,339人	2,237人	104.6%
合計			4,176人	4,082人	102.3%

区分		年度	当年度	前年度	前年度比
逆紹介患者数			2,313人	2,131人	108.5%

外来は医師会員からの紹介が最も多く48%であった。特養等介護施設の紹介は、平成24年度から開始した連携が浸透した結果34.5%であった。

主だった入院紹介は近隣の急性期病院からの転院で65%を占めており、高度急性期を提供する病院の後方支援機能を果たすことができた。また、特養等介護施設からの救急入院が27.7%、医師会員からの紹介が11.8%あり、急性期機能も果たすことができた。

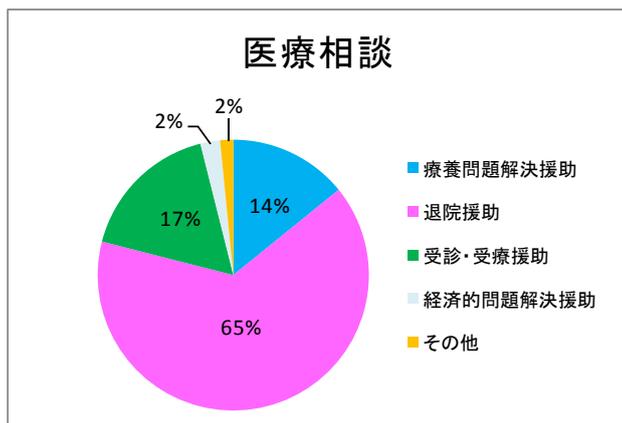
検査は医師会員からの紹介が97.5%で、主だった検査はCT・MRIが77%を占めており、高額医療機器の共同利用に繋がった。



## 4.3.2 医療相談実績

区分	年度	当年度	前年度	前年度比
医療相談件数		3,959件	4,227件	93.7%

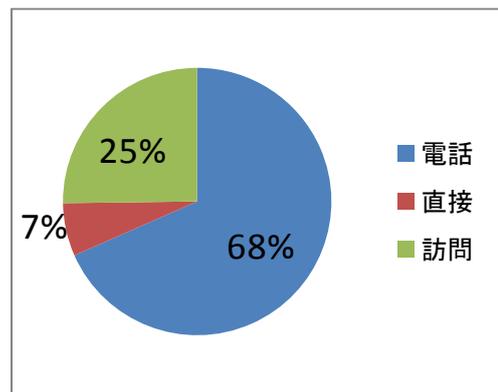
主だった相談は退院援助で65%を占めていた。当院は近隣の急性期病院からの転院や特養等介護施設からの受入れも多く、病状や身体状態、家族事情や経済状況などを鑑み、適切な療養環境が提供されるよう相談援助を行った。



## 4.4 在宅実績

### 4.4.1 地域包括支援実績

区分	年度	当年度	前年度	前年度比
介護予防支援		882件	765件	115.3%
相談件数		3,082件	2,469件	124.8%



### 4.4.2 居宅介護支援実績

区分	年度	当年度	前年度	前年度比
要支援1		17人	8人	212.5%
要支援2		5人	24人	20.8%
要介護1		311人	312人	99.7%
要介護2		307人	276人	111.2%
要介護3		151人	178人	84.8%
要介護4		76人	40人	190.0%
要介護5		82人	101人	81.2%
合計		949人	939人	101.1%

区分	居宅介護支援
契約者数	1,023人
新契約者数	55人
相談受付	70人

### 4.4.3 訪問看護実績

区分	年度	当年度	前年度	前年度比%
訪問看護	介護保険	4,822件	4,061件	118.7%
	医療保険	1,723件	1,279件	134.7%
	小計	6,545件	5,340件	122.6%
訪問リハビリ	介護保険	569件	434件	131.1%
	医療保険	223件	244件	91.4%
	小計	792件	678件	116.8%
合計		7,337件	6,018件	121.9%

区分	訪問看護
契約利用者数	1,484人
利用者実数	1,402人
24時間呼び出し回数 (出勤+電話)	401回
新規利用者数	109人
終了者数(死亡含む)	76人
入所・入院者数	170人

## 4.5 部門実績

### 4.5.1 医療安全管理部門

#### 〈職種別アクシデント・インシデント件数〉

職種	アクシデント件数		インシデント件数	
	当年度	前年度	当年度	前年度
医師	1件/年	0件/年	4件/年	6件/年
看護師	5件/年	1件/年	566件/年	600件/年
薬剤師	0件/年	1件/年	8件/年	14件/年
技師等	0件/年	0件/年	120件/年	104件/年
事務職員	0件/年	0件/年	2件/年	5件/年
その他	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年

#### 〈内容別アクシデント・インシデント件数〉

内容	アクシデント件数		インシデント件数	
	当年度	前年度	当年度	前年度
薬剤	2件/年	0件/年	290件/年	265件/年
輸血	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年
治療・処置	0件/年	0件/年	10件/年	8件/年
医療機器等	0件/年	0件/年	5件/年	10件/年
ドレーン	0件/年	0件/年	81件/年	87件/年
検査	0件/年	0件/年	40件/年	65件/年
治療上の世話	4件/年	1件/年	173件/年	202件/年
その他	0件/年	0件/年	85件/年	92件/年

#### 〈内容別アクシデント・インシデント発生比率〉

内容比率 (%)	当年度	前年度	※日本医療機能評価
薬剤	41.8%	36.3%	30.0%
輸血	0%	0%	0.4%
治療・処置	1.4%	1.1%	5.5%
医療機器等	0.7%	1.4%	3.2%
ドレーン	11.6%	11.9%	10.1%
検査	5.7%	8.9%	8.8%
治療上の世話	26.8%	27.7%	25.0%
その他	12.0%	12.7%	17.0%

#### ※日本医療機能評価

平成25年度病床規模別発生件数報告（病床数が100～199床の医療機関）における発生比率

## 4.5.2 感染管理部門

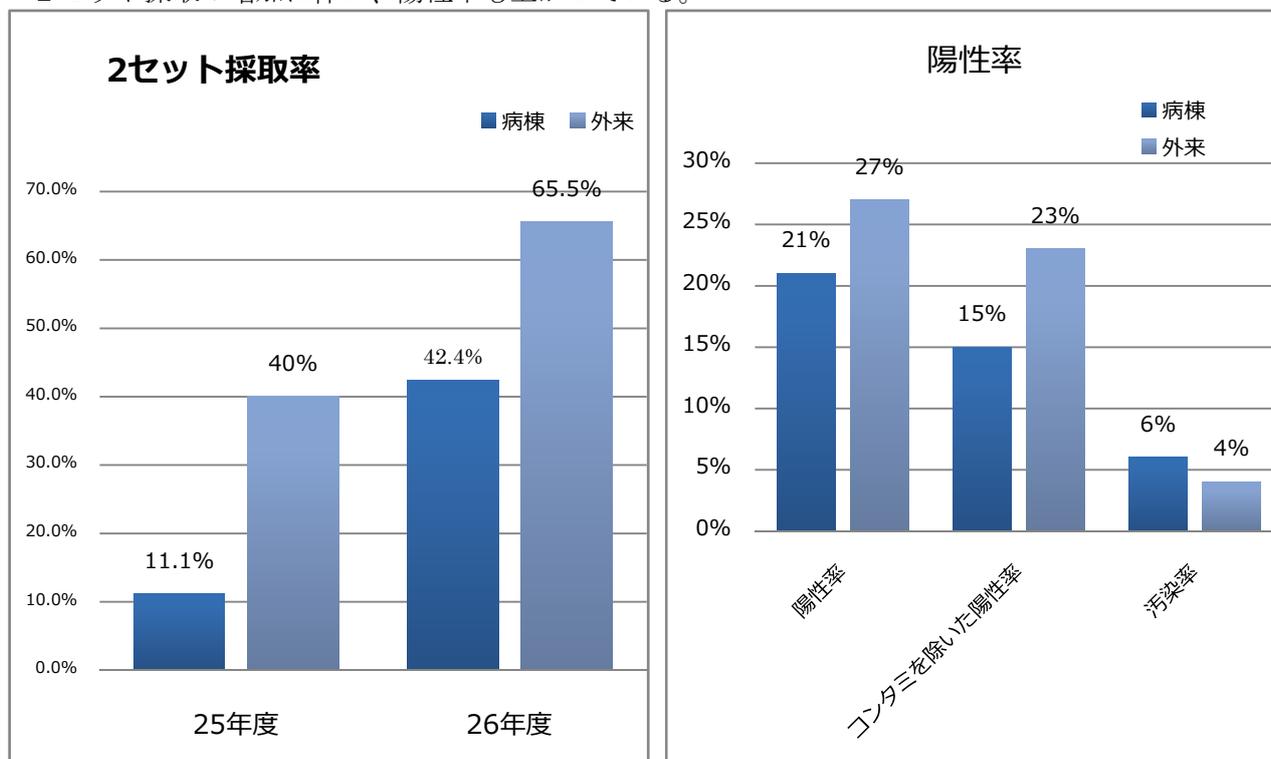
### ＜薬剤耐性菌サーベイランスの発生件数＞

内容	当年度	前年度	前々年度
メチシリン耐性菌黄色ブドウ球菌 (MRSA)	45 件/年	48 件/年	50 件/年
バンコマイシン耐性陽球菌 (VRE)	0 件/年	0 件/年	2 件/年
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	0 件/年	0 件/年	0 件/年
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	0 件/年	0 件/年	0 件/年
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	0 件/年	0 件/年	0 件/年
多剤耐性アシネトバクタ属 (MDRA)	0 件/年	0 件/年	0 件/年
基質特異性拡張型 $\beta$ ラクタマーゼ (ESBLs)	11 件/年	7 件/年	7 件/年
$\beta$ ラクタマーゼ陰性 ABCP 耐性インフルエンザ菌 (BLNAR)	1 件/年	4 件/年	0 件/年
メタロ $\beta$ ラクタマーゼ産生菌	0 件/年	0 件/年	0 件/年
カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)	1 件/年	0 件/年	0 件/年
その他	0 件/年	0 件/年	0 件/年

- ・厚生労働省サーベイランス事業に参加。全入院部門・検査部門へデータ提供し、参加証明書を受理した。

### ＜血液培養検査状況＞

- ・血液培養検査の2セット採取を推奨している。
- ・25年度に比較して外来・病棟ともに増加している。
- ・2セット採取の増加に伴い、陽性率も上がっている。



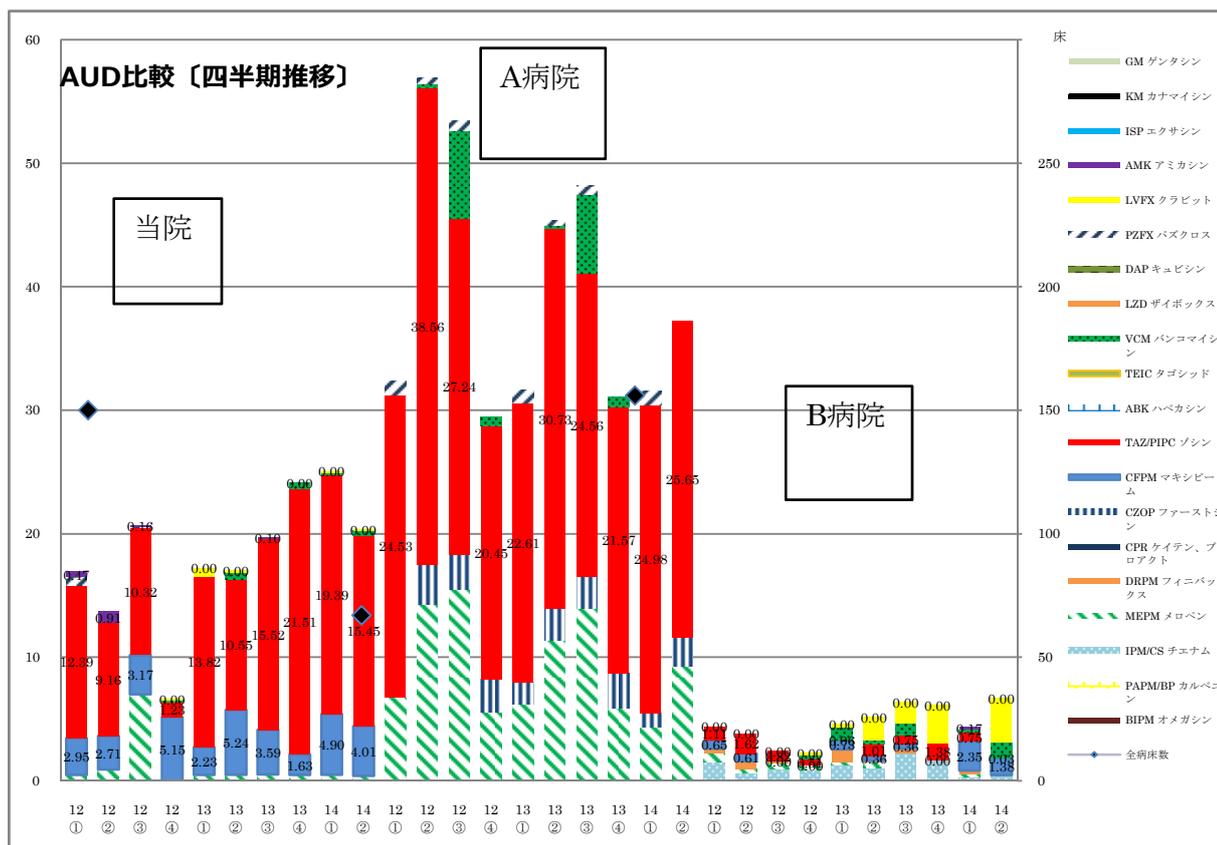
<医療関連感染の発生件数>

内容	当年度	前年度	前々年度
中心ライン関連血流感染	2件/年	1件/年	0件/年

- ・平成26年度は2件の中心ライン関連血流感染を2例認めた。1例は血液培養検査が実施されなかったが2例とも臨床学的に血流感染と判断した。

<抗菌薬の適正使用> (他施設との比較)

- ・A病院と当院はゾシンの使用量が多い。
- ・当院のゾシンが多い理由：誤嚥性肺炎患者への投与が多いため。



### 4.5.3 診療部門

#### <主な入院指導・管理件数>

内容	当年度	前年度
救急医療管理加算	1,900 件／年	1,065 件／年
在宅患者緊急入院診療加算	5 件／年	5 件／年
難病患者等入院診療加算	590 件／年	790 件／年
退院調整加算 1（一般病棟）	76 件／年	57 件／年
退院調整加算 2（療養病棟）	4 件／年	5 件／年
退院時共同指導料	2 件／年	1 件／年
地域連携診療計画退院時指導料	103 件／年	89 件／年

#### <主な外来指導・管理件数>

内容	当年度	前年度
特定疾患療養管理料	7,647 件／年	7,330 件／年
難病外来指導管理料	347 件／年	323 件／年
夜間休日救急搬送医学管理料	338 件／年	332 件／年
在宅患者訪問診療料・往診料	186 件／年	87 件／年

#### <時間外・救急件数>

内容	当年度	前年度
救急車搬入数	853 件／年	848 件／年
救急車転送患者数	146 件／年	150 件／年
時間外・救急入院患者数	213 件／年	227 件／年

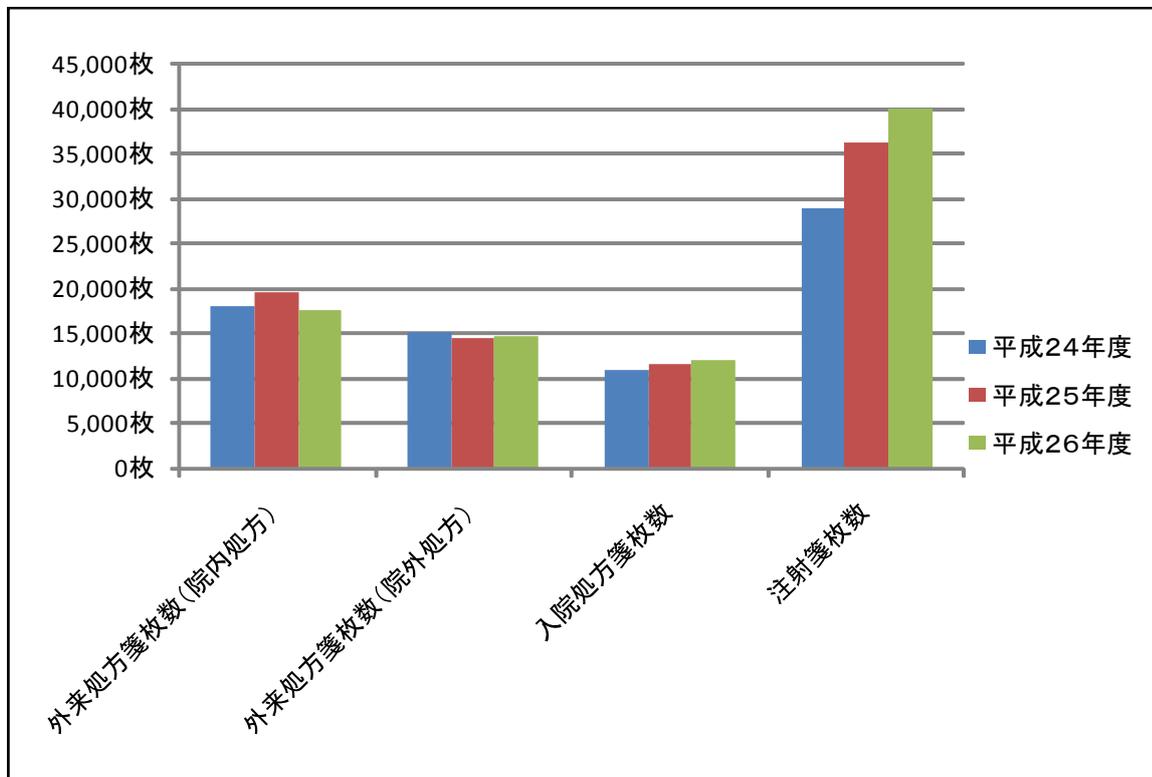
#### <特別療養老人ホーム等施設からの患者受入件数>

内容	当年度	前年度
入院治療（施設→入院）	191 件／年	167 件／年
外来治療（施設→外来→施設）	172 件／年	125 件／年
高度医療機関転送（施設→外来→転送）	27 件／年	29 件／年

## 4.5.4 薬剤部門

### 〈処方箋件数〉

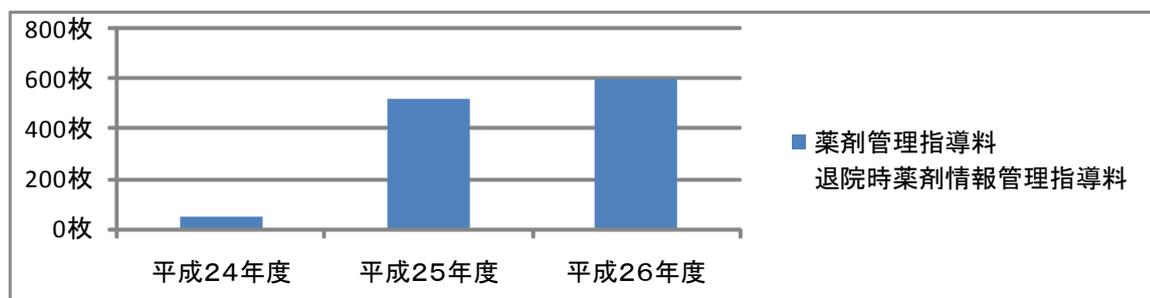
処方箋枚数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
外来処方箋枚数(院内処方)	18,085枚	19,551枚	17,547枚
外来処方箋枚数(院外処方)	15,238枚	14,520枚	14,693枚
入院処方箋枚数	10,984枚	11,502枚	12,086枚
注射箋枚数	28,910枚	36,231枚	40,120枚



・経年比較をすると当院の傾向は高齢者の入院患者が増加し薬物(内服・注射)治療が多くなっている。

### 〈薬剤指導管理件数〉

薬剤管理指導件数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
薬剤管理指導料	47枚	517枚	602枚
退院時薬剤情報管理指導料			



・平成25年度より体制強化(スタッフ増)により件数が増加した。

#### 4.5.5 診療放射線部門

<撮影件数>

件数		当年度	前年度
一般撮影		63,249件	61,811件
X線TV	注腸	41件	85件
	UGI	25,615件	25,418件
	その他	149件	155件
乳房X線撮影		5,719件	5,685件
CT検査	頭部	1,051件	980件
	躯幹	3,078件	2,761件
	四肢	25件	23件
MRI検査	頭部	2,062件	1,880件
	躯幹	626件	563件
	四肢	153件	116件
骨密度検査		3,251件	3,095件
パノラマ撮影(歯科)		1件	9件

#### 4.5.6 臨床検査部門

<検査件数(検体・細菌・病理)>

検査名称	平成26年度			平成25年度		
	件数	診療	健診	件数	診療	健診
生化・免疫検査	64,866件	24%	76%	65,872件	21%	79%
血液検査	56,042件	14%	86%	58,026件	13%	87%
一般検査	123,163件	2%	98%	121,420件	2%	98%
微生物検査	1,501件	63%	37%	1,437件	56%	44%
病理・細胞診検査	11,430件	8%	92%	11,499件	9%	91%
循環機能検査	68,182件	3%	97%	67,053件	3%	97%
呼吸機能検査	10,909件	5%	95%	10,921件	4%	96%
脳神経機能検査	12件	100%	0%	4件	100%	0%
超音波検査	17,643件	8%	92%	17,264件	8%	92%

## 4.5.7 手術部門

〈手術件数〉

領域	内 容	当年度		前年度
胃	胃全摘術	6件	6件	9件
	胃空腸吻合術（ブラウン吻合）	0件		
肝胆膵	腹腔鏡下胆嚢摘出術	10件	14件	11件
	腹腔鏡下総胆管切開載石摘出術	0件		
	開腹胆嚢摘出術	3件		
	開腹総胆管切開載石摘出術	1件		
大腸	結腸切除術	9件	38件	23件
	ヘルニア根治術	23件		
	小腸部分切除	1件		
	直腸切除	4件		
	腸管癒着症手術	1件		
虫垂	虫垂切除術	0件	0件	6件
その他消化管	腫瘍摘出術	0件	2件	5件
	腹膜炎手術	1件		
	試験開腹	1件		
	胃瘻造設術	0件		
乳房	乳腺腫瘍摘出術	0件	0件	0件
骨折	観血的整復固定術	17件	24件	11件
	抜釘術	7件		
腱	腱鞘切開術	2件	2件	1件
その他	中心静脈カテーテル埋め込みポート	5件	11件	13件
	皮下腫瘍摘出術	4件		
	I V Hポート抜去	0件		
	陥入爪手術（複雑なもの）	1件		
	人工肛門造設術	1件		
合 計		97件		79件

## 4.5.8 リハビリテーション部門

〈リハビリテーション件数〉

単位数		当年度	前年度
理学療法	脳血管	18,777単位	25,832単位
	運動器 I	25,395単位	17,379単位
	呼吸器	184単位	179単位
	小計	44,356単位	43,390単位
	(早期加算)	5,846単位	4,930単位
作業療法	脳血管	15,533単位	19,458単位
	運動器 I	16,372単位	10,547単位
	呼吸器	0単位	42単位
	物忘れ	511単位	552単位
	小計	32,416単位	30,599単位
	(早期加算)	3,986単位	2,780単位
	(物忘れ件数)	229件	138件
言語療法	脳血管	12,993単位	14,588単位
	早期加算	787単位	1,223単位
	摂食嚥下	1,482単位	467単位
	小計	14,475単位	15,055単位
合計		91,247単位	89,044単位
訪問リハビリ	訪問リハビリ	807単位	
	(訪問患者数)	218人	
外来リハビリ	外来単位数	2,286単位	585単位
	(外来総件数)	844件	120件

平成26年度から外来リハビリテーションを開始しました。

入院リハビリについては、回復期リハビリテーション病棟の患者様を中心に実施しています。

回復期リハビリテーション病棟の患者様は、平均約6.5単位/日実施しています。

回復期病棟の在宅復帰率は、整形外科疾患91%、脳血管疾患84%と高い割合で在宅復帰されています。

外科の術後の患者様についても、主治医の指示のもと、術直後からリハビリテーションを実施しています。

## 4.5.9 診療録管理部門

〈退院患者統計〉

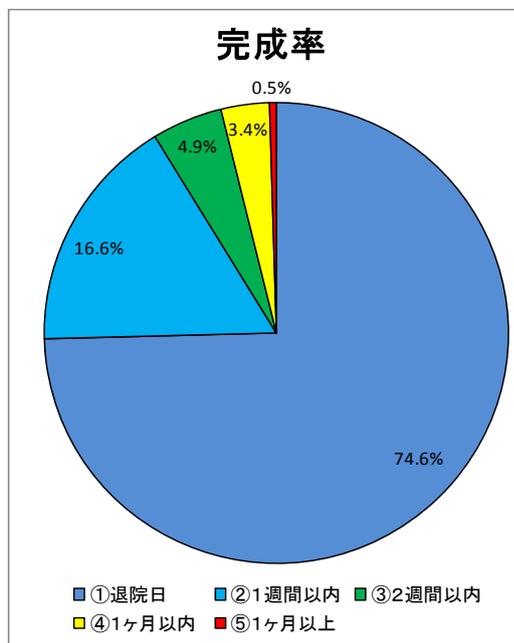
退院患者		当年度	前年度
入院経路	外来	463人	473人
	救急	319人	340人
	紹介	131人	145人
	転院	357人	335人
	施設	89人	88人
	転棟	125人	127人
入院目的	治療	1,015人	1,046人
	療養	466人	444人
	その他	3人	18人
退院経路	外来	415人	408人
	紹介	258人	283人
	転院	77人	100人
	施設	190人	194人
	自宅	246人	277人
	死亡	298人	246人
退院患者数		1,484人	1,508人

〈退院サマリ作成率〉

作成区分	一般病棟	回復期病棟	療養病棟	合計	完成率
①退院日	819人	130人	158人	1,107人	74.6%
②1週間以内	178人	13人	56人	247人	16.6%
③2週間以内	59人	10人	4人	73人	4.9%
④1ヶ月以内	47人	1人	2人	50人	3.4%
⑤1ヶ月以上	7人			7人	0.5%
合計	1,110人	154人	220人	1,484人	100.0%

(説明)

- ・ 当院では、  
退院当日に74.6%、  
2週間以内に96.1%が  
完成している。



## 5 委員会状況

### 5.1 委員会一覧

---

- 医事紛争処理委員会
- 倫理委員会
- 臨床研修委員会
- 医療安全管理委員会
- 院内感染対策委員会
- 診療実務委員会
- 健診運営委員会
- サービス向上委員会
- IT委員会
- 診療報酬委員会
- 内視鏡室運営委員会
- 栄養管理委員会
- N S T委員会
- 褥瘡防止対策委員会
- 薬事材料委員会
- 臨床検査適正化・輸血療法委員会
- 入退院判定会
- 医療ガス安全管理委員会
- 災害対策委員会
- 広報委員会
- 衛生委員会

## 5.2 主な委員会の活動報告

### 5.2.1 医療安全管理委員会

#### 1) 委員会目的

当院における医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、適切に医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする。委員会は毎月第4木曜日（平成26年6月までは毎月第4水曜日）に開催する。

#### 2) 会議内容

- ・インシデント事故報告、セーフティマネジメント部会、事故防止のための対策・改善、研修会計画、医療過誤情報等の定例内容をはじめ医療安全に関する内容

#### 3) 主な活動内容

開催日	研修名	参加者
2014/4/2	新採用者医療安全管理オリエンテーション	新規採用者【20名】
2014/5/30	医療安全管理研修 リハビリテーション版	【リハビリ職員20名】
2014/8/28	『真・報連相』～医療安全管路全体研修会～	【全職員108名】
2014/10/22	『チーム・ステップス』～医療安全管路全体研修会～	【全職員名】
2015/2/12	医薬品安全管理研修会	医療安全メンバー【全職員50名】
2015/3/5	院内安全フォーラム	医療安全メンバー【全職員166名】

#### ● セーフティマネジメント部会WGより

##### ①月別インシデントアクシデント発生件数推移（単位：件）

###### ■ 説明

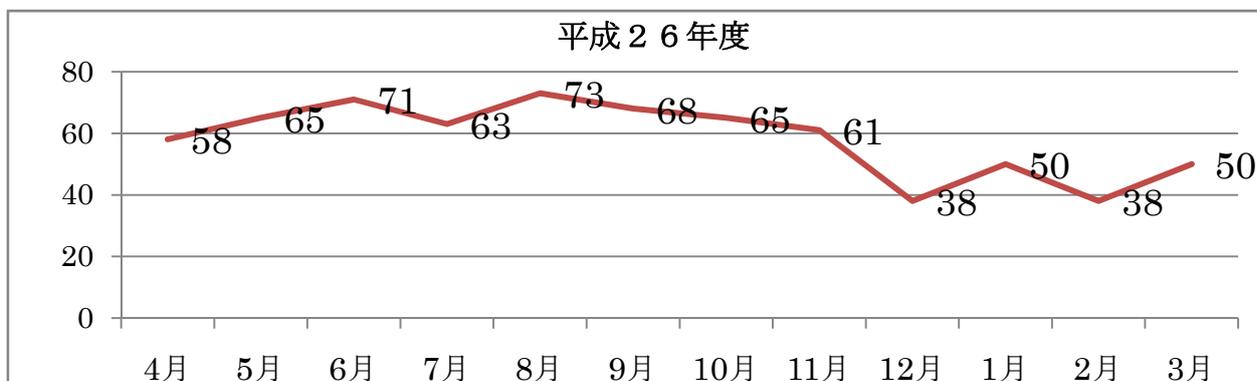
医療安全管理委員会はインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数を毎月報告をしてその推移を調査しております、。この指標は、一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

###### ■ 定義

インシデントアクシデント各月の発生件数

###### ■ 比較指標

一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書より病床規模別、100床あたりのヒヤリ・ハット件数では、いずれの病床規模別においても 37.6～42.5件



② 転棟転落 発生率 (単位:‰)

■ 説明

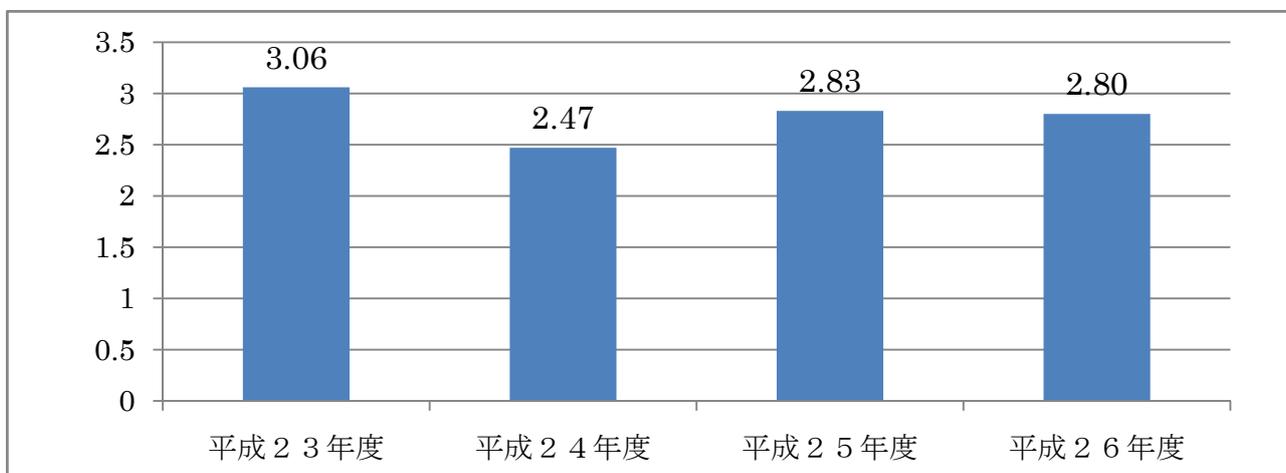
病院に入院したにもかかわらず、ベッド周辺、歩行途中、トイレに行く戻りなど思わぬところで転倒 転落があります。医療安全管理委員会にインシデント/アクシデントレポートとして報告された件数をもとに、入院患者さん全体より転倒 転落の報告がされた発生率を求めております。この指標は、一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

■ 定義

転倒・転落件数 / 入院患者延数

■ 比較指標

一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書転倒転落発生率の 1 年間の平均は、平均値 2.57‰



## 5.2.2 院内感染対策委員会・ICT委員会

### 1) 委員会目的

- 院内感染対策委員会：エイズ、MRSA、B型肝炎及び結核などの院内感染予防対策を推進することを目的として毎月第2火曜日に開催する。
- ICT委員会：院内感染防止のための調査・研究及び対策の確立に関し、迅速かつ機動的に活動することを目的として毎月第1火曜日に開催する。

### 2) 活動内容

#### <院内感染対策委員会>

定期開催12回、臨時開催2回（7月「職員家族の疥癬発症に伴う対応について、10月「エボラ出血熱出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的対応について」）

#### <ICT委員会>

##### \* 感染防止対策加算 \*

- 平成24年4月に豊田厚生病院と連携し、感染防止対策加算2を申請し、豊田厚生病院主導の合同カンファレンスに参加。（医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師の4職種が年4回参加する。）
- 平成25年1月に中野胃腸科病院、北斗病院と連携し、感染防止対策加算1を申請し活動を開始する。同時に地域連携加算を申請し、トヨタ記念病院、豊田厚生病院と地域連携活動を開始する。当院主催の合同カンファレンス（年4回）及び相互評価（トヨタ記念病院へのラウンド、豊田厚生病院による当院の院内ラウンド）を実施した。

##### ○感染防止対策加算Ⅰ×Ⅱ 合同カンファレンス内容

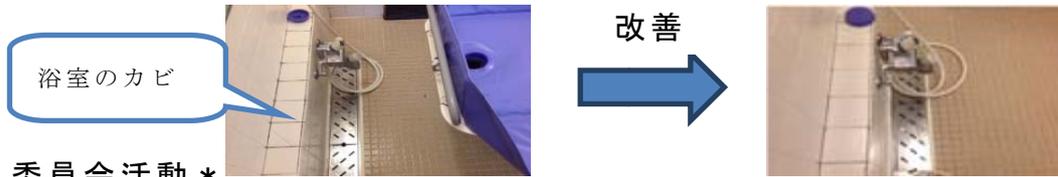
第1回①（6月9日） 第1回②（6月30日）	第2回（9月8日）	第3回（12月8日）	第4回 （平成27年3月9日）
①中野胃腸科病院 （医療センター） ②医療センター（北斗病院）	北斗病院（中野胃腸科病院、医療センター）	医療センター（中野胃腸科病院、北斗病院）	医療センター（中野胃腸科病院、北斗病院）
・中野胃腸科ラウンド ・サーベイランス報告 ・ICTラウンド及びICTカンファレンス介入事例の現状 ・多職種ミーティング	・北斗病院ラウンド ・防護具の設置、手指消毒剤の設置について ・多職種によるミーティング	・2014年度半期、抗菌薬・手指サーベイランスの集計報告 ・インフルエンザ・ノロウイルスの対策 ・多職種ミーティング	・細菌検査データ集計報告 ・1年を振り返っての意見交換 ・来年度の予定 ・日本環境感染学会参加報告 ・多職種ミーティング

##### ○抗菌薬症症例カンファレンス（介入3症例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討回数	5回	4回	5回	4回	4回	4回	5回	4回	4回	4回	4回	3回
継続症例	41件	62件	56件	34件	77件	42件	53件	46件	38件	37件	38件	56件
新規症例	44件	38件	32件	60件	29件	26件	33件	20件	26件	21件	38件	21件

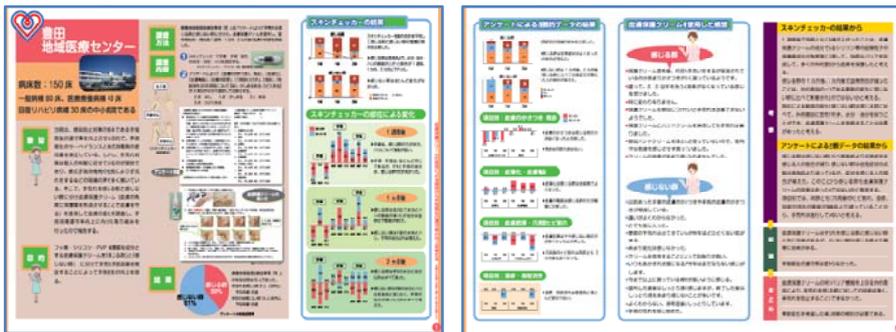
- ・（症例1）：腎機能低下に伴うゾシンの投与量の減量を助言し、3V→2Vに減量となった。
- ・（症例2）：炎症反応・白血球の上昇にともなう抗菌薬の変更を助言し変更となった。
- ・（症例3）：病名が適応症がなく投与禁忌となっていたため抗菌薬の変更を助言した。

○ICT ラウンド（チェックリストをもとに実施→指導→評価）



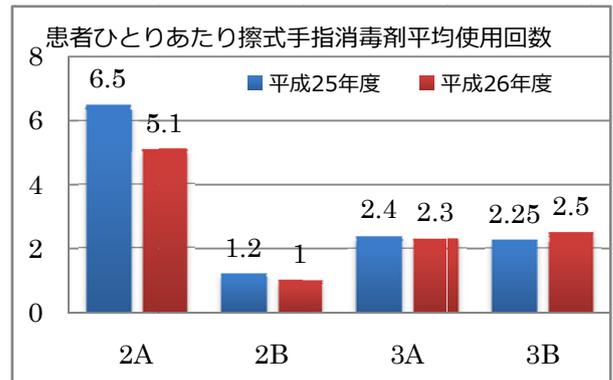
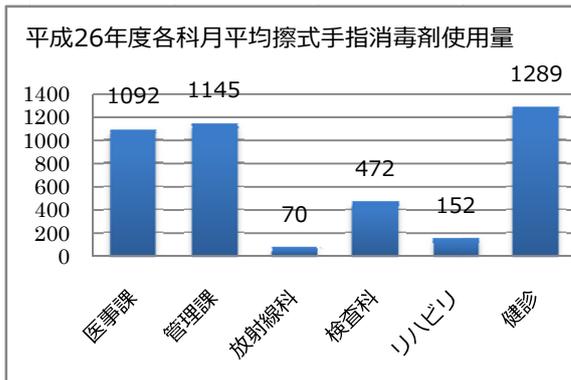
\* ICT 委員会活動 \*

○リンクナースとの協働で「皮膚保護クリームの使用による検証から手指衛生の遵守率の向上を考える」をテーマに検証し、平成 27 年 2 月 20 日、第 30 回日本環境感染学会ポスター展示部門で発表した。

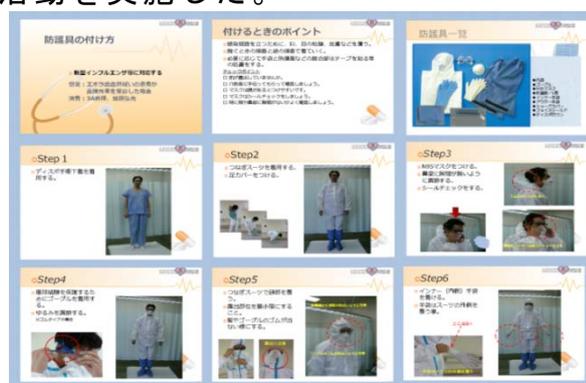


○ICT 委員の各所属での手洗い研修の実施と擦式手指消毒剤使用量の測定。

- ・使用量の多い箇所へは自動式擦式手指消毒剤容器（正面玄関、南棟玄関、健診センター）を設置し、少ない箇所（3A、2A 病棟病室）は容量の少ない容器と交換した。
- ・インフルエンザ流行期に伴い、外来患者と入院患者と交差するリハビリテーション科の運動療法室、作業療法室入口に自動式擦式手指消毒剤容器を設置し、患者・職員ともに手指消毒の啓蒙をはかった。



○西アフリカにおけるエボラ出血熱発生に伴い、防護具の着脱の訓練及び医療安全フォーラムにおいて募金活動を実施した。



## 5.2.3 健診運営委員会

### 1) 委員会目的

院内及び院外の健診事業の運営調整に関することを目的として、毎月最終金曜日に開催する。

### 2) 会議内容

院内部会、院外部会、高齢者健診検討部会、各科(課)から提出されてきた議題に対し、委員会で検討を行い、その結果を各部会および各科(課)にフィードバックし、健診基本方針に沿った健診事業が行えるようにする。

開催日	会議内容
2014/4/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診アンケートに対する改善について</li> <li>・2014福祉健フェスティバルについて</li> <li>・学校健診実施後の要相談・要精密検査の取り扱いについて</li> </ul>
2014/5/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ABIドックオプションについて</li> <li>・豊田市のクーポン(子宮頸がん・乳がんMMG・大腸がん検診)事業について</li> </ul>
2014/6/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋刑務所職員健康診断入札結果について</li> <li>・ドック採便容器の保存期間変更について</li> </ul>
2014/7/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック時の胃カメラ(生検)の取り扱いについて</li> </ul>
2014/8/29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の会議で、ワーファリン等の抗凝固剤服用者の生検は実施しないことに決定した。</li> <li>・労災二次健康診断の検査内容について</li> </ul>
2014/9/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック時の胃カメラ(生検)検査のご案内について</li> </ul>
2014/10/31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度高齢者健診について</li> </ul>
2014/11/28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者健診検討部会の設置について</li> </ul>
2014/12/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者健診検討部会からの報告</li> <li>・ドックキャンセル対策について</li> </ul>
2015/1/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院外でのインフルエンザ予防接種について</li> <li>・総合内科の予約枠について</li> <li>・高齢者健診検討部会からの報告</li> </ul>
2015/2/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者からの紹介状作成依頼について(精密検査受診時)</li> <li>・人間ドック成績表の変更について(婦人科検査欄)</li> <li>・給食業者変更に伴う高齢者食の廃止について</li> </ul>
2015/3/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回承認された紹介状の書式の検討</li> <li>・クレアチニンの判定基準の変更について</li> <li>・ドック受診後の精密検査は総合診療科の再来枠に入れていく。</li> </ul>

## 5.2.4 サービス向上委員会

### 1) 委員会目的

患者さまに良質で快適な医療を提供することを目的として、毎月第4火曜日に開催する。

### 2) 主な活動内容

- ・ 病院ボランティア部会の実施（毎月第1月曜日）
- ・ あいさつ運動の実施（5月26日～30日、12月1日～15日）
- ・ 健診受診者へのアンケート調査の実施（12月15日～20日）
- ・ 患者満足度調査の実施（2月23日～27日）
- ・ 外部講師招聘による接遇研修会の実施（1月29日、2月6日）
- ・ 皆様の声報奨制度“きらり賞”の選考

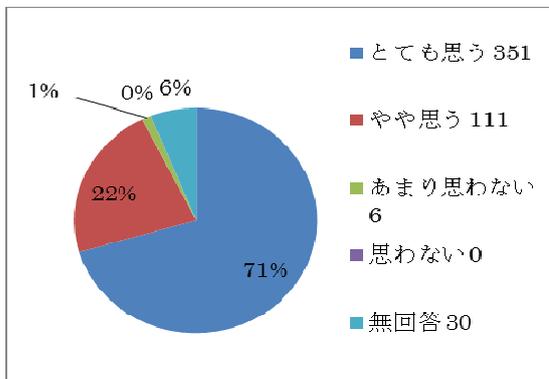
#### ■ 皆様の声報奨制度“きらり賞”の創設について

- ・ 日常業務において、患者・受診者等病院利用者への対応が優れており、他の模範となる個人又は部署（グループ）を表彰することで、職員の士気高揚と組織の活性化を図ることを目的に創設した。

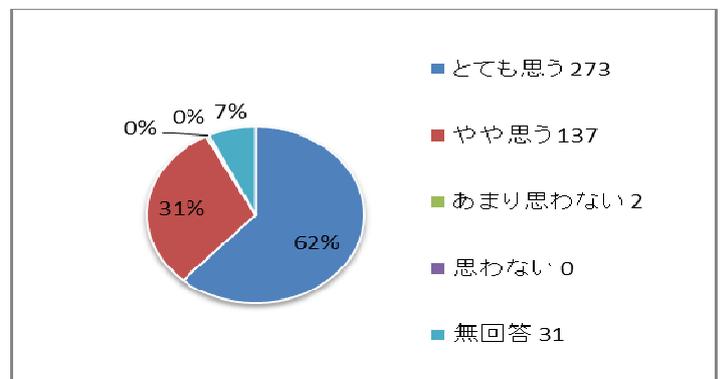
#### ■ 健診受診者満足度調査結果より

問) 今後もセンターを利用したいと思いますか？

《平成26年度》



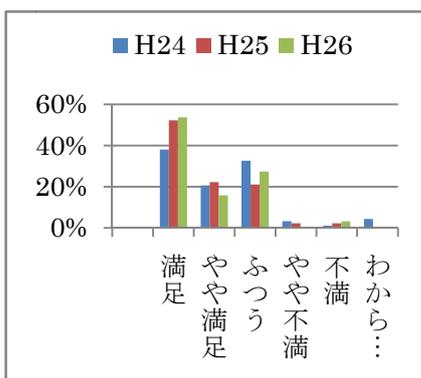
《平成25年度》



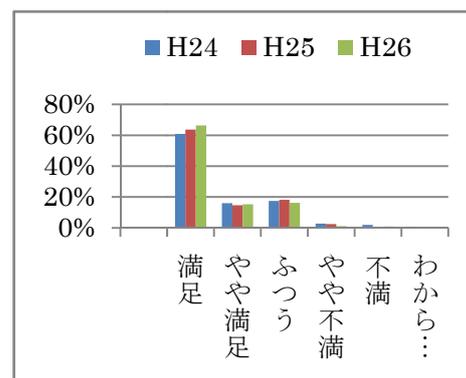
#### ■ 患者満足度調査結果より

問) 医師の対応

《入院》



《外来》



## 5.2.5 I T 委員会

### 1) 委員会目的

診療情報とセンター全体の I T に関する計画・運用・管理を目的として、毎月第 3 金曜日（又は火曜日）に開催する。

### 2) 会議内容

開催日	会議内容
2014/ 4/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の委員会活動について</li> <li>・電子カルテシステム関係の管理体制について</li> <li>・ウィルスセキュリティーの変更について</li> </ul>
2014/ 5/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携システムのバージョンアップについて</li> <li>・入院検査説明書の自動起動廃止について</li> <li>・医薬品情報検索システムの導入について</li> <li>・【勉強会】災害時医療情報閲覧システム</li> </ul>
2014/ 6/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品情報検索システムの導入について（継続）</li> <li>・電子カルテリプレースの検討方針について</li> <li>・放射線オーダ画像コピーと取込について</li> </ul>
2014/ 7/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテリプレースの組織について</li> <li>・【勉強会】モバイル端末を利用した診療支援ツール</li> </ul>
2014/ 8/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器等備品購入計画について</li> <li>・電子カルテリプレースの更新条件について</li> <li>・サブシステムのリプレースについて</li> </ul>
2014/9/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテリプレースの時期について</li> <li>・電子カルテ・サブシステムのリプレースについて（継続）</li> </ul>
2014/10/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ・サブシステムのリプレースについて（継続）</li> <li>・【勉強会】電子カルテのクラウド化とその注意点</li> </ul>
2014/11/	中止
2014/12/16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度予算の対応について</li> <li>・電子カルテ・サブシステムのリプレースについて（継続）</li> </ul>
2015/1/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度予算の対応について</li> <li>・電子カルテ・サブシステムのリプレースについて（継続）</li> </ul>
2015/2/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ・サブシステムのリプレースについて（継続）</li> </ul>
2015/3/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ・サブシステムのリプレースについて（継続）</li> <li>・4 月診療体制変更に伴うマスタ対応について</li> <li>・【勉強会】次期病院情報システム更新について</li> </ul>

## 5.2.6 診療報酬委員会

### 1) 委員会目的

保険診療の請求について適正な執行、周知徹底を図ることを目的として、隔月1回定期的に開催する。

### 2) 会議内容

開催日	会議内容
5月22日	平成26年2月・3月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
7月24日	平成26年4月・5月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
9月25日	平成26年6月・7月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
11月25日	平成26年8月・9月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
1月22日	平成26年10月・11月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
3月26日	平成26年12月・平成27年1月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡

### 3) 主な活動内容

- ・診療報酬の減点分析報告と対策を検討した。
- ・委員会での内容を各医師へ報告した。

### 4) 査定率比較（平成25年12月～平成26年11月）

診療月	保険組合	愛知県	医療センター
平成25年12月	支払基金	0.19%	0.03%
	国保連合会	0.17%	0.00%
平成26年1月	支払基金	0.22%	0.03%
	国保連合会	0.20%	-0.26%
平成26年2月	支払基金	0.23%	0.01%
	国保連合会	0.24%	0.02%
平成26年3月	支払基金	0.37%	0.13%
	国保連合会	0.20%	0.06%
平成26年4月	支払基金	0.24%	0.30%
	国保連合会	0.23%	0.04%
平成26年5月	支払基金	0.24%	0.28%
	国保連合会	0.20%	-0.62%
平成26年6月	支払基金	0.24%	0.02%
	国保連合会	0.21%	0.05%
平成26年7月	支払基金	0.24%	0.03%
	国保連合会	0.20%	0.02%
平成26年8月	支払基金	0.26%	-0.01%
	国保連合会	0.20%	-0.05%
平成26年9月	支払基金	0.25%	0.05%
	国保連合会	0.20%	0.00%
平成26年10月	支払基金	0.25%	0.06%
	国保連合会	0.21%	0.14%
平成26年11月	支払基金	0.27%	0.02%
	国保連合会	0.21%	0.01%

※ 対象月の医療センター計は、再審査請求による復点が多くマイナス0.02%となった。

## 5.2.7 内視鏡室運営委員会

### 1) 委員会目的

「内視鏡の安全かつ効率的な運営」を目的として、奇数月第3木曜日に開催する。  
また、内視鏡室運営に関わる問題が生じた場合は、随時委員会を開催し迅速に対応している。

### 2) 会議内容

開催日	会議内容
2014/5/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗血栓薬服用患者に対する消化器内視鏡ガイドラインに伴う当院の取り決めについて</li> <li>・大腸内視鏡検査のご案内用紙の変更について</li> <li>・注腸検査食について</li> </ul>
2014/7/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗血栓薬服用患者に対する消化器内視鏡ガイドラインに伴う当院の取り決めについて</li> <li>・大腸内視鏡検査を受けられる患者の減少に伴い、鎮痛剤を希望する患者の受け入れについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・胃内視鏡検査前処置に使用する胃内有泡性粘膜除去剤について</li> <li>・健診胃バリウム検査実施者からの胃カメラへの呼び出しについて</li> </ul> </li> </ul>
2014/9/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注腸検査前処置について</li> <li>・尿素呼気試験によるピロリ菌感染診断に影響を及ぼす薬剤について</li> <li>・内視鏡検査説明書について</li> </ul>
2014/11/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸X線検査準備表について</li> <li>・健診便潜血陽性者の外来予約時の対応について</li> </ul>

### 3) 主な活動内容

平成26年度 診療実績

区分		件数
上部消化管内視鏡 1616件	経鼻上部消化管内視鏡	654件
	内視鏡的胃ろう造設術	12件
	鎮痛・鎮静剤併用	13件
下部消化管内視鏡 976件	内視鏡的大腸ポリープ切除術	281件
	内視鏡的大腸粘膜切除術	84件
	鎮痛・鎮静剤併用	67件

年齢構成別患者数

区分	0～14歳	15～64歳	65歳以上
上部消化管内視鏡 1616件	0件	997件	619件
下部消化管内視鏡 976件	0件	515件	461件

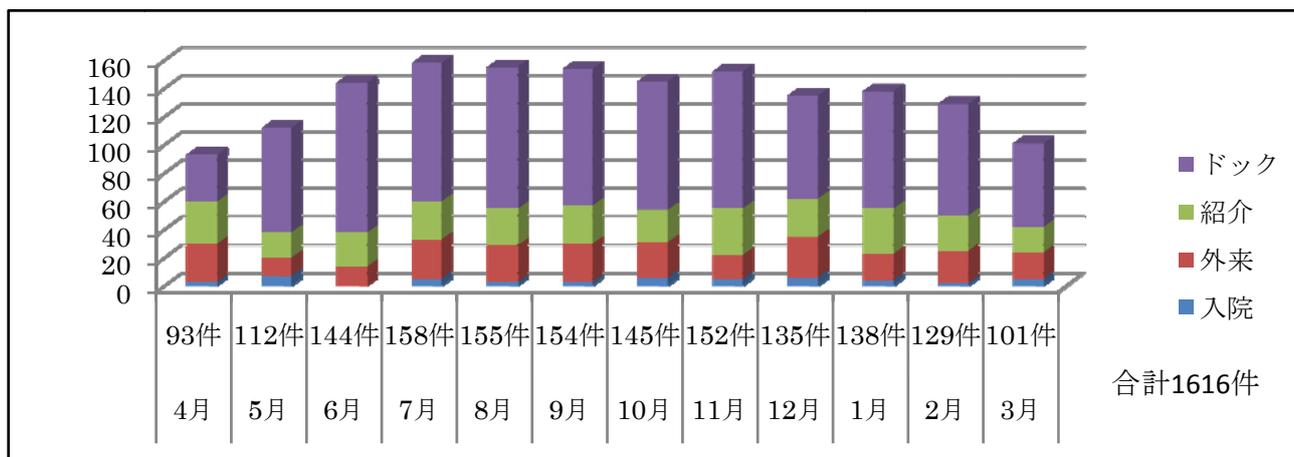
癌所見発見数とその後の経過

区分		件数
上部消化管内視鏡 18件	医療センターで手術	5件
	他病院へ紹介	13件
下部消化管内視鏡 18件	医療センターで手術	11件 手術不適応1件
	他病院へ紹介	6件

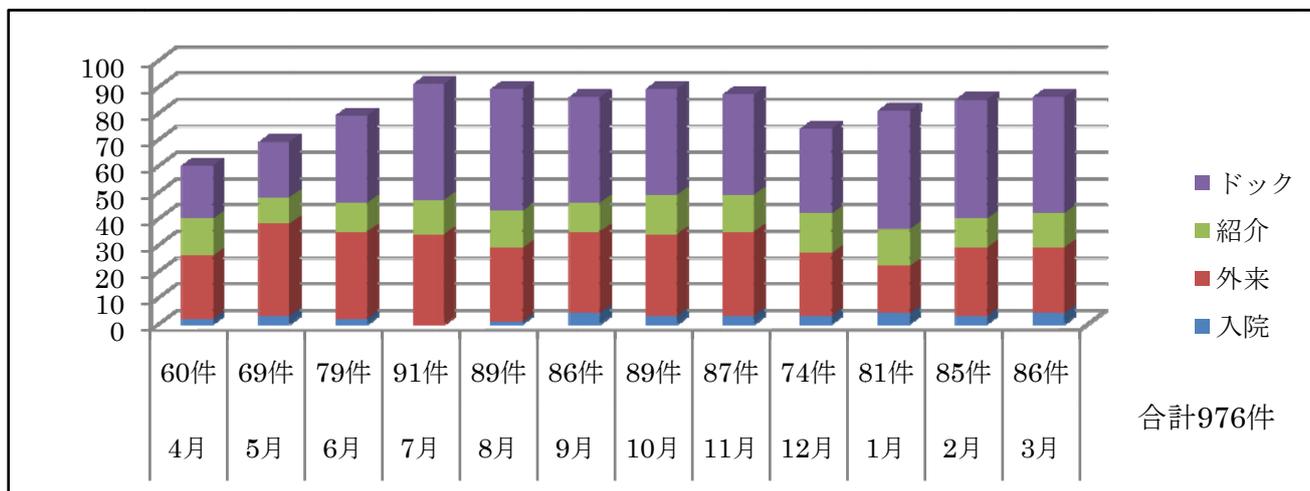
大腸内視鏡治療における偶発症発生率

区分	医療センター	全国平均
後出血	0.82%	0.5～1%

上部消化管内視鏡月別・発生別推移



下部消化管内視鏡月別・発生別件推移



## 5.2.8 栄養管理委員会

### 1) 委員会目的

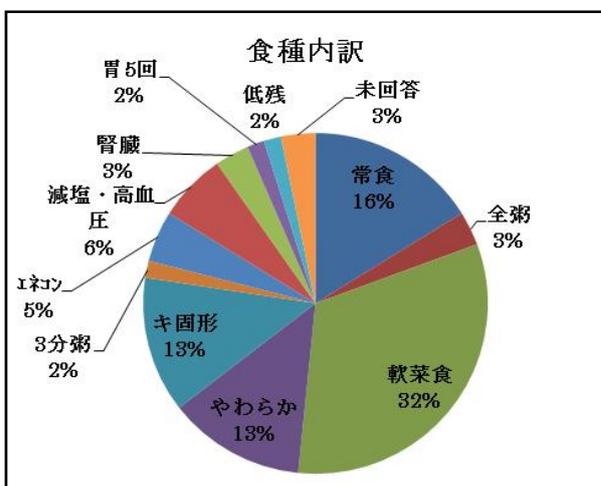
患者さまの栄養管理と適切な食事提供を目的として、毎月第3月曜日に開催する。

### 2) 活動実績

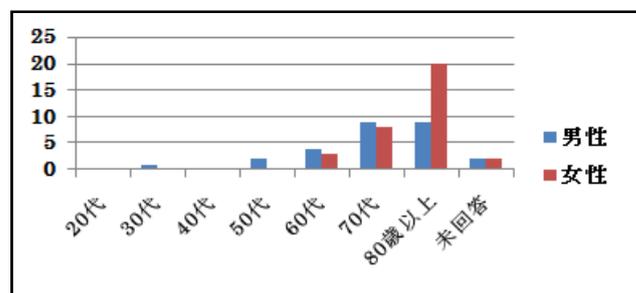
項目	実施日	内容	対象者数
イベント	寿司イベント	4月2日	患者 35名
	寿司イベント	12月24日	患者 43名
食事満足度調査	上半期	8月25日～29日	患者 67名 回答率 75%
	下半期	2月2日～6日	患者 77名 回答率 81%
研修会	職員衛生講習	5月14日	従業員 25名
	職員衛生講	11月5日	従業員 20名

### 食事満足度調査（平成27年2月） ※アンケート調査抜粋

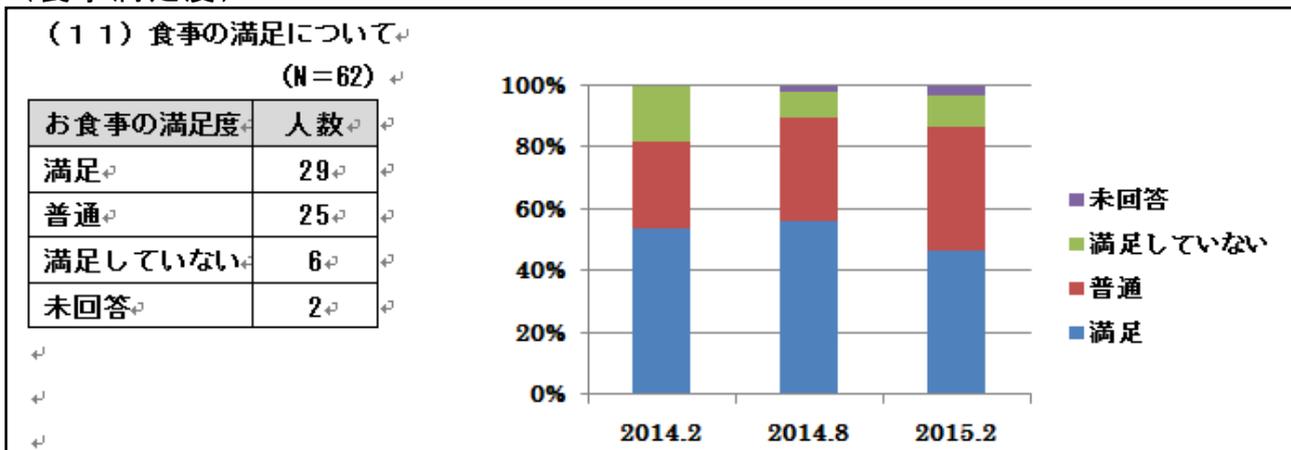
#### （食事種類）



#### （年齢層）



#### （食事満足度）



## 5.2.9 NST委員会

### 1) 委員会目的

栄養障害を生じている、又はそのリスクがある患者さまの栄養療法を支援することを目的として、奇数月第2火曜日に開催する

### 2) 会議内容

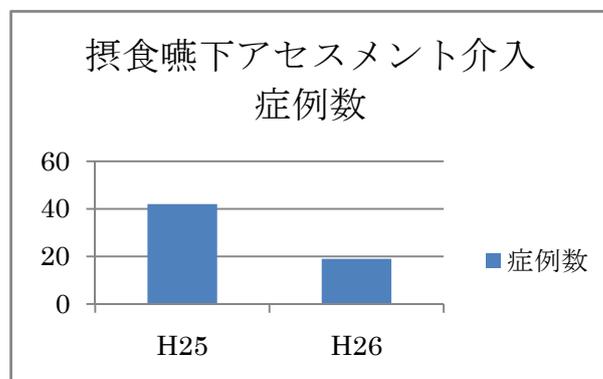
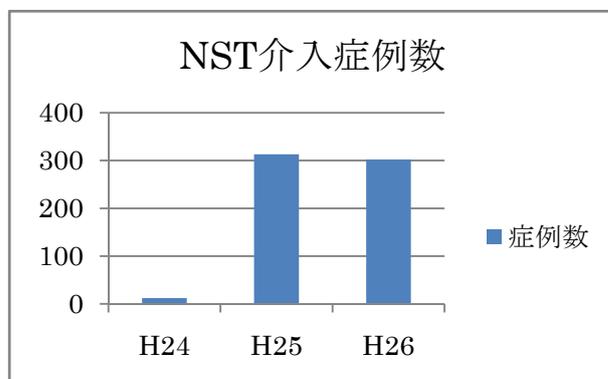
開催日	回	主な内容
5月19日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> <li>・現行のカンファレンス</li> <li>・回診方法について評価・検討</li> <li>・入院時、退院時のBMIの変化を評価していく</li> </ul>
7月9日	第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> <li>・診療録への記載方法</li> </ul>
9月9日	第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> <li>・濃厚流動食見直し・変更</li> </ul>
11月11日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> <li>・院内全体研修会について</li> </ul>
1月6日	第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> </ul>
3月10日	第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> <li>・2014年度(4月～2月) 介入結果報告</li> </ul>

### 3) 活動実績

#### (1) 平成26年度実績

	実施症例数	延べ患者数	1回当たり患者数
N S T	302 症例	526 名	10.5 名/回
摂食嚥下アセスメント	19 症例	19 名	

#### (2) 年度比較



平成25年度よりNSTの体制強化を図り、積極的な取り組みをした。

## 5.2.10 褥瘡防止対策委員会

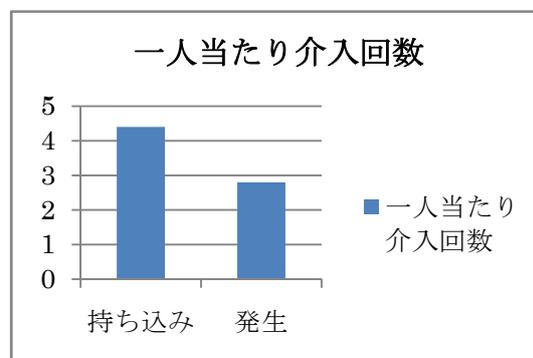
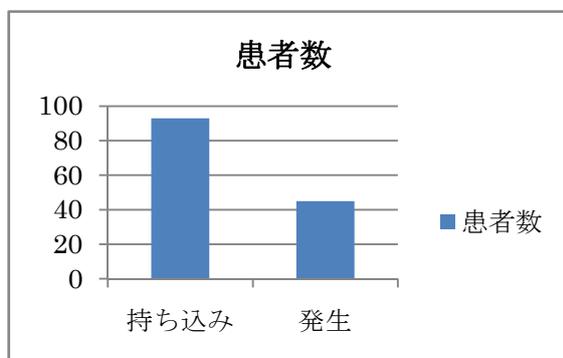
### 1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける院内褥瘡防止を推進することを目的として、年4回定期的に開催する。

### 2) 活動内容

委員会開催日	会議内容
2014/4/28	委員会及び要綱の確認 平成25年度褥瘡院内発生・持ち込み状況 当院の褥瘡処置ならびに回診について 褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
2014/7/28	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について 栄養・褥瘡対策部会より 褥瘡のある方のNST介入状況 ヒールタイプのハイドロサイト、アクアセルAgフォームの導入について
2014/10/28	4月～9月の回診介入状況について 日本褥瘡学会学術集会参加報告 褥瘡防止対策委員会主催の研修会について 褥瘡のある方のNST介入状況
2015/2/23	褥瘡防止対策委員会主催の研修会の報告

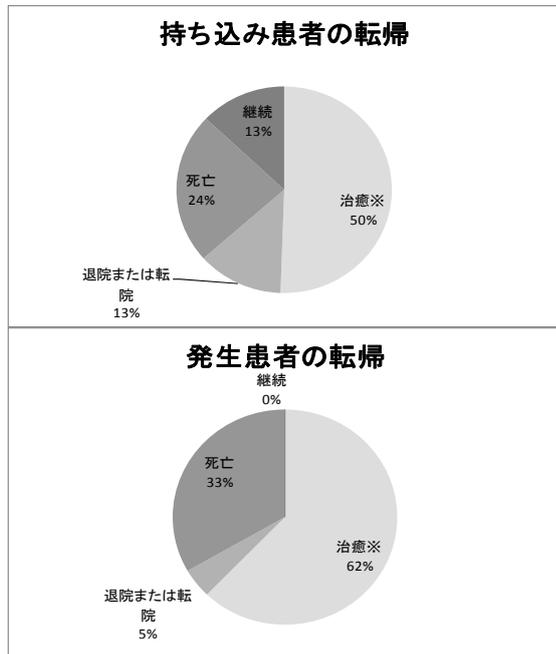
- ・褥瘡回診を毎週月曜日に実施し（重症例は木曜日も追加）、年間57回、152名に対し、のべ582回の介入を行った。
- ・他院または外来からの持ち込みの褥瘡は93件、当院での発生は45件であり、褥瘡以外の創傷も17件あった。
- ・持ち込みの殆どが、急性期病院もしくはそれ以前に発生したものであった。
- ・平均介入回数は、持ち込みの褥瘡が4.4回、院内での発生は2.8回であり、当院での発生事例は短期間で改善したものが多かった。



- ・入院時は褥瘡好発部位（仙骨部・踵・大転子部など）の体圧を測定し、高値であればマットを高レベルのエアマットなどに変更し、圧の低減を図っている。
- ・所有するマットは、リースを含めエアマットが40台、体圧分散マットが138台で、27年3月より、さらにエアマットを25台追加し、高齢化社会に向けて対応

できるよう取り組んでいる。

- ・褥瘡持ち込み（93名）と発生（45名）に分けた転帰は、以下のものであった。  
※転帰のうち「治癒」には、1度～2度で、感染や浸出液もほとんどない軽症のものも含む



- ・褥瘡防止対策委員会主催の研修会として、「褥瘡の病態と外用剤の使い方」と題して平成27年1月26日17:30～18:30に開催した。参加者は32名、今後の活用度で「大いに参考にする」「参考にする」との意見が多かった。

## 5.2.11 薬事材料委員会

### 1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける使用薬品・材料の評価及び新規採用の検討を行うことにより、的確な治療法の確保、最大限の治療効果及び効率的な医薬品・材料の使用を推進することを目的として、隔月第1金曜日に開催する

### 2) 主な活動内容

- ・ 医薬品の新規採用の検討、採用削除品目の検討をした（平成26年度採用品目6品目、削除品目14品目）
- ・ 新規採用に後発医薬品を検討し後発医薬品採用割合20%以上を維持
- ・ 医薬品販売品名・剤形変更についての報告（22件）
- ・ 医薬品販売中止品目の対応検討
- ・ 診療材料の採用等の検討

## 5.2.12 臨床検査適正化・輸血療法委員会

### 1) 委員会目的

臨床検査の精度の向上に関する活動を行うこと及び輸血療法を安全で適切に行うことを目的として、偶数月第3木曜日に開催する。

### 2) 活動内容

血液製剤の使用が適切であるかを審議し、使用件数の報告を行っている。

輸血製剤		当年度	前年度
RBC		24件 /年	22件 /年
	破棄	0件 /年	0件 /年
FFP		0件 /年	0件 /年
	破棄	0件 /年	0件 /年
アルブミン		6件 /年	8件 /年
	破棄	1件 /年	0件 /年

年4回行われる精度管理調査報告により臨床検査の精度を評価している。

精度管理実施団体	参加施設数	評価対象数	評価 A+B		評価 C		評価 D	
			件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
日本医師会	3,200 施設	99 施設	99 件	100 %	0 件	0 %	0 件	0 %
日本臨床衛生検査技師会	3,800 施設	103 施設	103 件	100 %	0 件	0 %	0 件	0 %
愛知県臨床衛生検査技師会	90 施設	107 施設	107 件	100 %	0 件	0 %	0 件	0 %
全国労働衛生団体連合会	300 施設	74 施設	74 件	100 %	0 件	0 %	0 件	0 %

- A、B、C、D評価は目標値±評価幅で評価を行っている
- 評価A、もしくは評価Bとなることが望ましい
- 評価対象分野は、臨床化学、免疫血清、血液検査

## 5.2.13 入退院判定会

### 1) 委員会目的

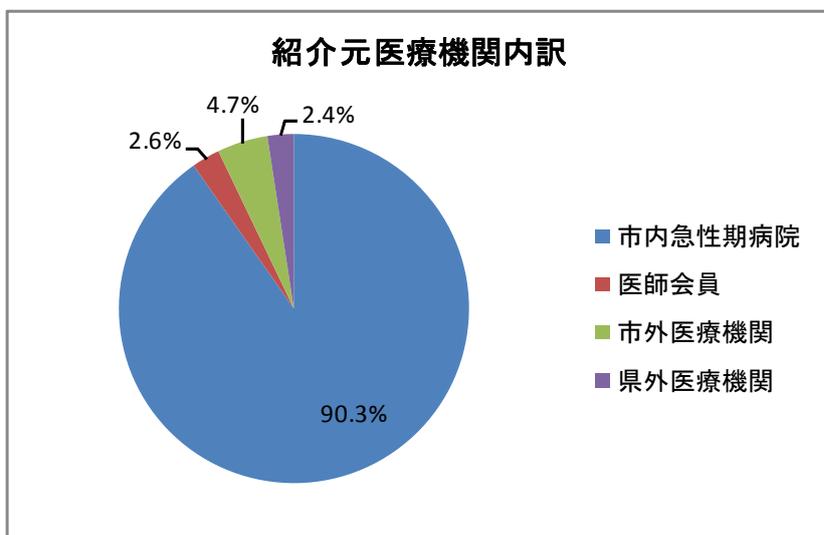
適切な受け入れと円滑な入退院調整、療養病棟への継続入院の検討を目的として、毎週火曜日に開催する。

### 2) 会議内容

- ・入退院判定会の構成委員は医師、看護師、MSW、医事課職員である。
- ・入退院判定会の受入れマニュアルに準じて、各職種の専門性を活かし、ケース検討を行っている。
- ・病棟稼働率、入院調整状況を共有している。
- ・長期入院患者の把握と退院困難ケースの現状と今後の方向性の検討を実施している。

### 3) 活動内容

開催日	会議内容
2014/ 4 5回	・ 検討52件（院外39件・院内13件）
2014/ 5 4回	・ 検討51件（院外44件・院内7件）
2014/ 6 4回	・ 検討52件（院外45件・院内7件）
2014/ 7 5回	・ 検討46件（院外40件・院内6件）
2014/ 8 4回	・ 検討53件（院外43件・院内10件）
2014/ 9 5回	・ 検討46件（院外40件・院内6件）
2014/10 4回	・ 検討41件（院外37件・院内4件）
2014/11 4回	・ 検討39件（院外34件・院内5件）
2014/12 4回	・ 検討65件（院外55件・院内10件）
2015/ 1 4回	・ 検討76件（院外68件・院内8件）
2015/ 2 4回	・ 検討63件（院外52件・院内11件）
2015/ 3 5回	・ 検討55件（院外50件・院内5件）



- ・ 検討ケースは市内急性期病院からの紹介が90%を占めていた。その他、医師会員、市外・県外の医療機関からの紹介であった。
- ・ 受入れ率は99.6%であり、紹介から受入れまでの待機日数は平均7日であった。

## 5.2.14 災害対策委員会

### 1) 委員会目的

災害の予防、防止及び災害発生時の災害復旧を早急に行なわせ、人命の安全、財産の保全につとめることを目的として、毎月第1金曜日に開催する。

### 2) 会議内容

開催日	会議内容
2014/ 4/ 4(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年3月防災訓練の反省について</li> <li>・建物避難施設等自主点検の火元責任者担当区域変更について</li> </ul>
2014/ 5/2(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備品の品目検討</li> <li>・消防計画（非常食）について</li> </ul>
2014/ 6/ 6(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備品の品目検討</li> <li>・消防計画（非常食）について</li> </ul>
2014/ 7/ 4(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備品の品目検討</li> <li>・消防計画（非常食）について</li> </ul>
2014/ 8/ 1(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月実施の第1回防災訓練について</li> </ul>
2014/ 9/ 5(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回防災訓練について</li> <li>・防災備品の配布について</li> </ul>
2014/10/ 3(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回防災訓練について</li> </ul>
2014/11/ 7(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回防災訓練の反省について</li> <li>・平成27年2月実施の第2回防災訓練について</li> </ul>
2014/12/12(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回防災訓練について</li> <li>・消防計画（防災訓練の実施時期と内容）について</li> <li>・災害時安否確認システムの導入について</li> </ul>
2015/ 1/ 9(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回防災訓練について</li> <li>・消防計画（防災訓練の実施時期と内容）について</li> <li>・災害時安否確認システムの導入について</li> </ul>
2015/ 2/ 6(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回防災訓練について</li> <li>・非常食購入品目について</li> <li>・3月実施の第3回防災訓練（放水訓練）について</li> </ul>
2015/ 3/ 6(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回防災訓練の反省について</li> <li>・第3回防災（放水）訓練実施報告について</li> <li>・非常食購入について</li> </ul>

### 3) 主な活動内容

- ・ 10月30日（木）に、地震を想定した訓練を実施。



- ・ 2月20日（金）に、夜間の火災を想定した訓練を実施。  
（模擬勤務者 22 人、模擬患者 20 人）



- ・ 3月5日（木）に、2階屋内消火栓からの放水訓練を実施。  
（職員等約 20 人）



## 5.2.15 広報委員会

### 1) 委員会目的

広報活動の推進と運営を行うことを目的として、不定期に開催する。

### 2) 会議内容

開催日	会議内容
2014/ 6/17(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センターだより53号について</li> <li>・ホームページ更新について</li> <li>・各種パンフレット更新について</li> </ul>
2014/ 9/10(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センターだより54号について</li> <li>・ホームページについて</li> </ul>
2014/11/11(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センターだより55号について</li> </ul>
2015/ 1/28(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度市民公開講座について</li> <li>・医療センターだより56号について</li> </ul>

### 3) 主な活動内容

- ・年4回（4・7・10・1月）の医療センターだよりの発行。
- ・各種パンフレット（病院案内、回復期リハ病棟案内、療養病棟案内）の内容の見直しと発行。
- ・ホームページの更新。



#### Vol. 52

##### 「健診」と「検診」

- ・高齢者健診のお勧め
- ・外来リハビリ開始
- ・新任医師紹介



#### Vol. 54

##### 健診センター受診のすすめ

- ・新副院長挨拶
- ・新看護部長挨拶
- ・新任医師紹介



#### Vol. 53

##### 新院長挨拶

- ・新理事長挨拶
- ・総合診療からの「よくある問題・豆知識」
- ・動脈硬化検査・大腸内視鏡検査



#### Vol. 55

##### 新年のご挨拶

- ・どんな健康問題も「専門外」と言わない。
- ・こんにちは！訪問看護です
- ・ボランティアグループ活動紹介&活動功労者表彰

## 5.2.16 衛生委員会

### 1) 委員会目的

職員の健康保持及び職場環境の改善を目的として、毎月第3木曜日に開催する

### 2) 会議内容

開催日	会議内容
2014/ 4/17 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> <li>職員の健康管理（健康診断等）の年間スケジュールについて</li> <li>平成26年度衛生委員会の委員について</li> <li>2階検査室の騒音調査の結果について</li> </ul>
2014/ 5/15(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> <li>健康診断の結果について</li> </ul>
2014/ 6/19(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> <li>メンタルヘルス研修会について</li> </ul>
2014/ 7/17(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2014/ 8/21(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> <li>健康診断の実施について</li> </ul>
2014/ 9/18(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> <li>健診結果に基づく精密検査等の受診勧奨をした結果の報告</li> <li>こころの健康づくりニュースレターの配布について</li> <li>インフルエンザワクチンの接種について</li> <li>きらきら健康づくり宣言への参加について</li> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2014/ 10/16(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について</li> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2014/ 11/20(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業環境測定（ホルムアルデヒド）の結果について</li> <li>職員定期健康診断の結果について</li> <li>健康保険加入者の生活習慣病予防健診の実施について</li> <li>労働災害の発生について</li> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2014/ 12/18(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2015/ 1/15(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>VDT健康診断の実施について</li> <li>職員定期健康診断の実施について</li> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2015/ 2/19(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断の追加検査項目の検討について</li> <li>産業医、衛生管理者の職場巡視結果について</li> </ul>
2015/ 3/19(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業環境測定結果（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）について</li> <li>VDT健康診断の結果について</li> <li>平成27年度の委員の選任について</li> </ul>

### 3) 主な活動内容

- 産業医による職場巡視を月1回、衛生管理者による職場巡視を週1回実施
- 職員健康診断に関する報告・検討
- メンタルヘルス研修会の開催

## 6 学会、研究会、講演等の発表

### 【院長・副院長】

#### Ⅲ. 講演

①井野晶夫

「高血圧の病理生理とその予防」

豊田市生活習慣病予防事業（2014. 8. 21）

②井野晶夫

「鉄欠乏性貧血について知っておこう」

豊田西ロータリークラブ（2014. 6. 2）

### 【診療部】

#### I. 学会・研究会発表

①清水朋宏

「胆嚢結石が肝床側に穿通した胆石胆嚢炎の一例」

第 50 回日本胆道学会学術集会（2014. 9. 26～27）

②清水朋宏

「The case report of a huge P-NEC (pancreatic neuroendocrine carcinoma)」

IASGO 世界会議 2014（2014. 12. 4～8）

### 【診療放射線科】

#### I. 学会・研究会発表

①柴田和宏

「vHP 利用による肩ヤスリ状アーチファクトと心臓周囲画像の時間分解能改善」

三重胸部 CT 技術研究会 (2014. 11. 15)

②柴田和宏

「自動露出機構 (CT-AEC) の特性についての基礎的検討

-CT 検診利用を考慮に入れた低撮影条件時の特性-

日本 CT 検診学会 (2015. 2. 13～14)

#### Ⅱ. 投稿・紙上発表

①柴田和宏

「低線量肺がん検診 (vHP 利用による肩ヤスリ状アーチファクトと心臓周囲画像の時間分解能改善)」

日本放射線技術学会誌 Vol. 70 No. 4

②柴田和宏

「受診者被ばく低減と時間分解能向上を両立させる肺がん CT 検診撮影法の基礎的検討」

日本 CT 検診学会誌 21 巻 2 号

## 【看護部】

### ①齋藤亜由美

「A病院外来看護師の災害看護に対する認識」  
愛知県看護教育研究学会（2014.11.1）

## 【医療連携課】

### ①山内 聖

「身元保証に関する当院の入退院における現状と課題」（優良演題受賞）  
第10回医療ソーシャルワーカー学会（2015.2.28）

## 【医療安全管理委員会】

### I. 学会・研究会発表

#### ①影山重幸（リハビリテーション科）

「転倒転落の環境整備－離床センサーの併用に関する取り組み」  
第10回 日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会（2014.11.29）

#### ②粕谷 敦（医療安全推進室）

「転倒転落予防の質向上－離床センサーベッド導入からの取り組み」  
平成26年度豊田市保健福祉事業発表会（2015.2.13）

#### ③石井瑞穂（看護部）

「皮膚保護クリームの使用による検証から手指衛生の遵守率の向上を考える」  
第30回日本環境感染学会（2015.2.21）

## 【事務局】

### I. 学会・研究会発表

#### ①松井道裕

「豊田市における在宅医療を推進する上での多職種連携の視点と課題」  
第5回日本プライマリケア連合学会学術大会（2014.5.10～11）

## 7 研修状況

### 7.1 研修会

所属	院外研修	院内研修	発表
共通・病院全体	4回	2回	
理事長	1回	0回	
院長	5回	0回	
副院長	9回	0回	
診療部	27回	0回	3回
看護部	48回	88回	2回
薬剤部	23回	21回	
診療放射線科	7回	13回	3回
臨床検査科	17回	20回	
リハビリテーション科	22回	38回	
栄養科	18回	22回	
地域連携・在宅医療支援センター	15回	10回	
在宅支援課	64回	0回	
医療連携課	24回	0回	
訪問看護科	20回	30回	
事務部	1回	0回	
総務課	18回	9回	
管理課	10回	1回	
医事課	2回	0回	
健診センター	7回	0回	
健診事業課	12回	3回	
健診看護科	1回	1回	
保健指導課	0回	0回	
医療安全推進室	2回	0回	
診療情報管理・IT推進室	3回	1回	
教務科	11回	0回	
事務課	2回	0回	
事務局	6回	0回	1回
院内感染対策委員会・ICT委員会	20回	21回	1回
医療安全管理委員会	7回	7回	1回
栄養管理委員会	0回	2回	
NST委員会	0回	3回	
IT委員会	0回	4回	
感染防止対策チーム	0回	1回	
在宅医療推進委員会	10回	0回	
セーフティマネジメント部会	0回	38回	
計	416回	335回	11回

## 8 実習状況

### 8.1 学生実習

学 校 名	受入数	実習期間	受入部署
中部リハビリテーション専門学校	1人	2014/7/28～9/12	リハビリテーション科
東名古屋病院附属リハビリテーション学院	1人	2014/7/28～9/5	リハビリテーション科
	1人	2014/9/22～10/31	リハビリテーション科
あいちビジネス専門学校	2人	2014/8/18～8/29	医事課
作業療法士会	1人	2014/8/18	リハビリテーション科
	1人	2014/8/19	リハビリテーション科
藤田保健衛生大学	1人	2014/9	訪問看護科
名古屋女子大学短期大学部	1人	2014/9/11～9/18	医事課
名古屋市大学	3人	2014/9/10～9/12	訪問看護科
	3人	2014/9/26	地域ケア支援センター
	3人	2014/11/2	地域ケア支援センター
日本赤十字豊田看護大学	2人	2014/10/7～10/16	訪問看護科
	3人	2014/11/4～11/6	訪問看護科
	3人	2014/11/25～11/27	訪問看護科
	2人	2014/12/15～12/18	訪問看護科
日本福祉大学	1人	2014/11/17～2015/1/16	リハビリテーション科
愛知県看護協会	2人	2015/1/19～2/17	訪問看護科
至学館大学	2人	2014/12/1～12/12	栄養科
名古屋学芸大学短期大学部	2人	2015/1/26～2/13	看護部
	2人	2015/2/16～2/27	医事課
	2人	2015/3/2～3/6	看護部
星城大学	1人	2015/1/26～2/14	リハビリテーション科
東海医療科学専門学校	1人	2014/2/12	リハビリテーション科
	1人	2014/2/13	リハビリテーション科
東北福祉大学	2人	2015/3/2～3/6	リハビリテーション科
愛知医療学院短期大学	1人	2015/3/2～3/6	リハビリテーション科

## 8.2 職場体験学習

学 校 名	日 程	参加人数
豊南中学校	2014/6/17・18	3人
猿投中学校	2014/6/10・11	1人
上郷中学校	2014/6/10・11	1人
藤岡中学校	2014/6/10・11	1人
高橋中学校	2014/6/4・6/5	1人
梅坪台中学校	2014/6/19・20	1人
井郷中学校	2014/6/19・20	1人
猿投台中学校	2014/11/11・12	2人
朝日ヶ丘中学校	2014/10/22・23	2人
9校		13人

主に豊田市内の中学生を対象に、愛知県教育委員会が推進する『あいち・出会いと体験の道場』に基づいて行う職場体験学習を通して、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなどを学ぶ機会を提供する。また、豊田市における医療センターの役割について知ってもらう。

## 9 監査状況

### 9.1 病院立入検査

---

検査機関	豊田市保健所
検査日	2014-11-27
指摘事項	なし

